

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人津別町社会福祉協議会

平成 30 年度 事業報告

1 事業報告の概要

平成 30 年度津別町社会福祉協議会の活動は、「第 1 期地域福祉計画・第 4 期地域福祉実践計画」の 4 年次の取り組みをもとに推進してきました。特に、本町はオホーツク管内トップの高齢化率のなか、一人暮らしや夫婦の高齢者世帯が増え、老々介護など地域が抱えている課題も深刻化してきています。

また、高齢者に限らず何らかの理由でひきこもり状態になっている方など、制度の狭間で孤立状態になっている方もこの間の調査で浮き彫りになっています。

平成 27 年度から町と連携し取り組んでいる、大阪市立大学・北海道総合研究調査会 H I T との共同事業である「地域相互支援型自治体推進モデル構築に係る研究事業」は平成 29 年度で 3 年間の事業は終了したものの、この活動の予防的福祉や住民との協働による総合相談体制など有効性があり、引き続き国のモデル事業である「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業（多機関協働の包括的支援体制構築ネットワーク事業）を活用し、町と一緒に事業継続を図ってきたところです。今年度は、平成 28 年度からスタートしている身近な福祉相談所ぽっとの活動が、旭町第 3、活汲中央に続いて、豊永第 3・緑町第 2 自治会でも始まり、担い手による見守り等の活動が広がっています。

また、住民による支え合い活動は、サロン事業、介護予防いきいきポイント事業、今年度からスタートした生活支援サポート事業などの取り組みを通して培われており、今後も住民主体となった活動を拡げていくことが求められています。

こうした住民と連携した取り組みは、今年度北海道で唯一、優良活動社会福祉協議会として全国社会福祉協議会会長表彰に結び付いたものであり、住民の皆さんと一緒にこの栄誉を喜び合いたいと思います。

以下、具体的総括は、重点項目から報告します。

2 重点項目

1. 総合相談機能の充実

(1) あんしん生活サポートセンターぽっとの運営

平成 26 年 10 月に設置したあんしん生活サポートセンターの活動は 4 年目に入り、権利擁護や生活困窮の相談窓口として、関係機関や地域の中に定着しつつあります。

平成 30 年度末には、市民後見人が個人受任しているケース 3 件、社会福祉協議会の法人後見 7 件と増えてきています。このケースに市民後見人 11 人が後見活動を担っており、市民後見人が果たす役割が益々増えてきています。また、北海道社会福祉協議会から受託している「日常生活自立支援事業」の利用が 1 件、津別

社協独自の通帳預りサービス「ほっと暮らしサポート事業」が2件と成年後見制度の利用と合わせ権利擁護事業を一体的に担ってきました。

今年度は、豊富町・幌延町の市民後見人等が来町してのフォローアップ研修や3年目となるオホーツク管内市民後見人活動交流会、全国権利擁護支援ネットワーク主催による権利擁護支援従事者研修など、市民後見人養成研修修了者向けの研修を開催してきたところです。

あんしん生活サポートセンターは、こうした成年後見制度の課題に限らず、もう一つの役割である生活困窮や社会的孤立の相談業務も増えてきている現状で、引き続き関係機関と連携しながら相談機能の充実を図っていきます。

(2) 地域相互支援型自治体推進モデル構築事業の推進

平成27年度から始まった大阪市立大学と北海道総合研究調査会(HIT)との研究事業は4年目を迎え、旭町第3、活汲中央自治会がモデル地区として「身近な福祉相談所ぽっと」を開設。平成30年度では、豊永第3・緑町第2自治会の2か所が拡大し、月2回、地域の担い手と町・社協職員とが連携し、地域の相談拠点としての取り組みを行ってきました。

この取り組みを通して、ひきこもり者の支援に関わる中で、地方創生推進交付金を活用した社会的孤立者の居場所づくりや社協あぐりの展開など、次へのステップになってきています。しかし、ひきこもり者の支援は、マニュアルがあるわけでもなくケースバイケースで個別に応じた支援と時間が必要なことから、居場所の運営も含めて今後の課題も山積している現状です。

この取り組みは、現在国が推し進めようとしている地域共生社会に向けての「住民相互の支え合い機能の強化」、「公的支援と協働した地域課題解決のための体制整備」がありますが、これらは、まさに津別の身近な福祉相談所の活動そのものであり、国に先んじて取り組んできたことでもあります。今年度は、国のモデル事業である「我が事・丸ごと」地域づくり推進事業を町が受託し、多機関協働による包括的支援体制構築事業ネットワーク会議が創られました。社協もこの会議に加わり、世帯全体の複雑化・困難化した事例の課題を受け止める包括的な相談体制づくりを推進してきたところです。

2. 地域の支え合い活動の推進

(1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み

- ・サロン活動では、現在、地区サロン9地区、運動サロン2地区、合計11地区でサロンが活動が展開されています。10月には、サロン関係者が一堂に会した「サロン交流会」を、今年も日赤奉仕団の協力のもと140人の参加者・関係者で盛大に開催することができました。しかし、地域福祉実践計画の目標でもある「毎年新規2地区の拡大」は、今年度は新規拡大地区がなく、次年度に向けての課題になっています。
- ・「命のバトン」の取り組みは、4自治会で取り組まれています。今後も、出前講座や自治会での説明などを通して命のバトンの取り組みを拡大していきます。

- ・各地域での見守り活動では、身近な福祉相談所やサロン活動の他にも、幸町、新町自治会で独居高齢者を中心に見守り活動が行われているほか、住民同士の活動が取り組まれてきています。
- ・福祉委員の見直しについては、地域福祉実践計画のなかで計画されていましたが、自治会連合会の協議までには至っていません、今後の課題でもあります。

(2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

平成 28 年 1 月から導入した介護予防いきいきポイント事業は、着実に地域の中にも広まりつつあり、始めてボランティア活動に加わる人もいる等、住民同士の支え合いと共に新たなボランティアの発掘にも寄与しています。平成 30 年度は、2 回の登録者事前研修（フォローアップ研修含む）を開催し、年度末では 137 人（前年より 14 人増）の登録者になっています。

平成 30 年度のポイント交換者は、74 人、214,000 円（29 年度 57 人、157,000 円）と活動が広がってきています。今後も、人口の 1 割（500 人）の登録者を目指し取り組みを進めていきます。

3. 生活支援サービスの充実

(1) 生活支援コーディネーターの活動と生活支援体制整備事業への取り組み

介護保険法改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業は、津別町は平成 28 年 4 月に移行となりましたが、住民主導となる訪問介護 B や通所介護 B の体制づくりは、これからの課題であります。平成 29 年度からこの課題に取り組む生活支援コーディネーター業務を町から受託し、生活支援体制整備協議体の運営や生活支援サポート事業の着実な運営に向けた取り組みを進めてきました。

(2) 生活支援サポート事業の推進

要介護認定者や総合事業対象者などの軽度者を中心とする家事支援を、住民主体となる「生活支援サポート事業」を平成 30 年 4 月から導入。その運営を社会福祉協議会が担ってきました。今年度は、サポーター登録者養成研修を 1 回、サポーターフォローアップ研修を 1 回開催し、サポーター登録者は 71 人（前年より 9 人増）になりましたが、地域ごとのバラツキがあり課題でもあります。

この事業の実利用登録者は 26 人で、このうち毎月 5～8 人が実利用人員になっています。年間の活動実績は、延利用人数が 187 人、延活動時間は 120 時間、延サポーター数は 249 人の実績となりました。活動内容は、お話し相手、室内清掃、ゴミだし、カーテン着脱などです。サポーターの商品券換券は、13 人、12,000 円でした。

(3) 福祉有償運送事業の取り組み

地域福祉実践計画の課題の一つであった要介護者等への移送サービスは、町の補助事業として福祉有償運送事業を平成 29 年 7 月から開始。事業登録者は平成 30

年度末で166人（要介護高齢者148人、障がい者18人）、実利用者も毎月40人前後の利用があり、なくてはならない福祉サービスの一つになっています。

現在、登録車両4台（1台は予備）で登録運転手8人（うち社協職員4人）がいますが、今後も安定した事業運営ができるよう、登録運転手の増員などを図りながら、住民の要望に応じていくこととします。

(4) 認知症地域支援推進員の活動

平成29年度から、地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制を構築するため「認知症地域支援・ケア向上事業」を町から受託し、認知症地域支援推進員を配置し活動を行っています。今年度は、課題であった認知症カフェの設置を、ボランティアの協力のもと開始することができました。平成29年度末の視察や協議経過を踏まえ、平成30年9月に「ちょこっと茶屋」の名称で開始。以降毎月開催し、7ヶ月で延159人、ボランティア延105人、合計で264人の参加が得られています。凡そ月平均38人が一堂に会し、おしゃべりや会食などひと時を過ごしています。

今後も、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため町や関係機関と連携して取り組んでいきます。

(5) 既存の福祉サービス事業等の充実

今年度も社協役員、ボランティア、地域住民の皆さんのご協力により、給食サービス、ふれあい郵便、一人暮らし高齢者の集い、男の料理教室、ふれあい広場等々の事業を推進することができました。

4. 社会福祉協議会事務局活動の充実

(1) 老人クラブ連合会事務局の取り組み

老人クラブ連合会事務局が社協に移行となり3年目。今年度も総会で確認した事業について、滞りなく実施をしてきました。平成30年度は、13クラブ・398人の会員ですが、年々会員数の減少が続いているのが現状で、平成30年度末を持って布川友愛老人クラブ（会員8人）が解散することになった等、会員増強に向けた取り組みが課題となっています。

(2) 庁舎等建設に伴う協議について

令和3年建設を目指す庁舎等建設（健康福祉センター含む）問題については、社協から山内副会長が庁舎等建設審議会委員として派遣すると同時に、都度の理事会でも議論経過等を報告してきたところです。

4月からは実施設計が始まり、秋口にはよいよ工事着工となることから、引き続き情報収集しながら、意見反映を行っていきます。

(3) 広報活動の充実

社協だよりは、予定どおり年4回発行を行ってきました。また、社協ホームペ

ージの更新のほか、日常の社協活動についてはフェイスブックを活用するなどSNS（ネットワークサービス）の利用も図ってきました。

(4) 事務局体制の整備

平成30年度は、年度途中で1名の職員の退職があり、年度内は短時間の臨時職員を配置し対応してきたところです。平成30年4月に新卒の社会福祉士を採用することができ、事務局5人体制に戻りました^{3/}。しかし、あんしん生活サポートセンター業務の拡大など、事務局職員の増員は今後も課題であり、町との協議を継続していきます。

社会福祉協議会会議

■理事会

- 第1回 平成30年4月20日(金) 10:00 ~ 11:30
出席者 理事10名 監事2名
- 第2回 平成30年5月22日(火) 10:00 ~ 11:45
出席者 理事11名 監事2名
- 第3回 平成30年9月19日(水) 13:30 ~ 14:40
出席者 理事11名 監事1名
- 第4回 平成30年12月18日(火) 10:00 ~ 11:20
出席者 理事9名 監事2名
- 第5回 平成31年3月12日(火) 10:00 ~ 11:40
出席者 理事11名 監事1名

■評議員会

- 第1回 平成30年6月12日(火) 14:00 ~ 15:30
出席者 評議員12名、会長、副会長2名 監事2名
- 第2回 平成30年9月19日(水) 15:00 ~ 16:30
出席者 評議員11名、会長、副会長2名 監事1名
- 第3回 平成31年3月20日(水) 15:00 ~ 16:40
出席者 評議員12名、会長、副会長2名 監事2名

■在宅福祉サービス推進委員会

- 第1回 平成30年4月24日(火) 15:30 ~ 17:05
出席者 委員5名 事務局3名
- 第2回 平成30年10月25日(木) 14:00 ~ 15:00
出席者 委員4名 事務局3名

■ボランティアセンター運営委員会

- 第1回 平成30年4月24日(火) 15:30 ~ 17:05
出席者 委員6名 事務局3名
- 第2回 平成30年10月25日(木) 14:00 ~ 15:00
出席者 委員7名 事務局3名

■歳末支援金配分委員会

- 第1回 平成30年12月7日(金) 14:00 ~ 14:20
出席者 委員5名 事務局2名

■内部監査

- 第1回 平成30年5月15日(火) 9:00 ~ 決算監査 監事2名
- 第2回 平成30年7月30日(月) 9:30 ~ 第1四半期 監事2名
- 第3回 平成30年10月31日(水) 9:15 ~ 第2四半期 監事2名
- 第4回 平成31年2月1日(木) 9:30 ~ 第3四半期 監事1名

町内研修会・会議・打合せ等

■定例民協（原則毎月第2木曜日） 出席者 山田局長

■自治会連合会定期総会

平成30年5月25日（金） 林研 山田局長

■社協事業（平成29年度）実績町長報告

平成30年5月31日（木） 原田会長、山田局長

■複合庁舎等建設審議会（山内副会長）

第1回 6月28日（木） 第2回 7月11日（水）

第3回 7月24日（火） 第4回 8月6日（月）

第5回 9月18日（火） 第6回 10月1日（月）

第7回 12月17日（月） 第8回 1月29日（火）

第9回 2月20日（水） 第10回 3月25日（月）

■北星学園大学畑ゼミ生管内社協見学ツアー

平成30年10月29日（月） 畑先生・学生5人

■役場庁舎等基本設計業務プロポーザル提案説明

平成30年11月18日（日） 審査員 山田局長

■社協職員面接試験

平成30年11月20日（火） 場所 社協会議室

面接員 原田会長、山田局長、門脇係長

■徘徊高齢者等SOSネットワーク会議

平成30年11月26日（月） 林研 出席者 門脇係長、及川主事

■小規模多機能ホーム夢ふうせんのか運営推進会議

平成30年5月31日（木） 共生ホーム 山田局長

平成30年11月26日（月） 共生ホーム 山田局長

平成31年1月28日（月） 共生ホーム 山田局長

■グループホームほのぼの運営推進会議

平成30年9月14日（金） 山田局長

平成30年12月14日（金） 山田局長、及川主事

平成31年1月25日（金） 山田局長

■年末調整説明会

平成30年11月22日(木) 林研 谷事務員

■コカコーラボトリング飲料プレゼント贈呈式

平成30年12月6日(木) 社協 原田会長

■津別農協労働力支援協議会

平成30年12月11日(火) 農協 出席者 門脇係長

■道社協網走地区事務所巡回支援

平成30年10月19日(金) 社協会議室 朝倉所長、山田局長

■庁舎等建設基本設計業者ヒアリング

平成30年12月26日(水) 山田局長、門脇係長

■庁舎等建設基本設計町民説明会

平成31年2月28日(木) 林研

■津別町高齢者虐待防止ネットワーク会議

平成31年3月19日(火) 林研 門脇係長

町外研修会・会議・打合せ等

■北見不登校親の会学習会

平成30年6月2日(土) 北見市 講師 山田局長

■管内社協職員連絡協議会監査

平成30年6月5日(火) 網走市 門脇係長

■オホーツク管内社協会長・事務局長会議

第1回 平成30年5月31日(木) 網走市 出席者 原田会長、山田局長

第2回 平成31年3月7日(木)～2日(金) 大江本家

出席者 原田会長、山田局長

■全道市町村社協会長・事務局長研究協議会

平成30年6月18日(月)～19日(火) 札幌市 出席者 原田会長、山田局長

■全道市町村社協事務局長連絡会議

平成30年11月14日(水) 札幌市 出席者 山田局長

- 全道新任社協職員研修会
平成30年6月6日(水)～8日(金) 札幌市 出席者 及川主事
- 管内社会福祉協議会職員連絡協議会研修会
平成30年7月5日(木)～6日(金) 網走市
出席者 門脇係長、寺尾主事、及川主事
- 全道社協職員連絡協議会・研究協議会
平成30年7月12日(木)～13日(金) 札幌市
出席者 佐藤主事、及川主事
- 北見地区精神保健協会評議員会
平成30年7月25日(水) 北見保健所 出席者 ～ 山田局長
- 広がれ！子ども食堂の輪全国ツアーin道東
平成30年8月4日(土) 帯広市 報告者 山田局長
- 厚真町災害ボランティアセンターへの職員派遣
平成30年9月18日(火)～24日(月) 派遣職員 門脇係長
- 日本司法支援センター釧路地方協議会
平成30年10月23日(火) 北見市 出席者 及川主事
- 全国社会福祉大会
平成30年11月22日(木) 東京都 原田会長出席
全社協会長表彰受賞 11月26日社協にて記者発表
- 災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会
平成31年1月15日(火)～16日(水) 北見市 出席者 及川主事

表 彰

- 1 全国社会福祉協議会会長表彰
 - 社会福祉協議会優良活動
 - ・津別町あんしん生活サポートセンターの活動に対する表彰
 ※平成30年11月22日全国社会福祉大会(東京都)の席上、原田会長が受賞

- 2 オホーツク管内市町村社会福祉協議会会長表彰
 - 社会福祉功労者
 - ・民生委員 ～ 大場建男 伊東美喜子
 - ・社会福祉協議会役員 ～ 荒川博明 加藤恭男
 ※平成30年7月29日つべつふれあい広場にて伝達

全国社会福祉協議会長賞を初受賞

「津別町あんしん生活サポートセンターほっと」が好評価



津別町社会福祉協議会 今後とも支援活動に励む

【津別】津別町社会福祉協議会(原田英機会長)が、優良社会福祉協議会として道内では唯一の全国社会福祉協議会会長表彰を受賞した。2014年から取り組む「津別町あんしん生活サポートセンターほっと」の活動が評価された。

同会長表彰は、組織体制や運営管理体制の強化に努め、過去3年以上にわたり高齢者や障がい者、児童、低所得者を対象に他の社協の規範となる優秀な活動を行っている団体に贈られる。本年度は全国で38団体が受賞。津別町社協は初受賞で、オホーツク管内では平成17年に受賞した遠軽町社協以来となる。

津別町社協が取り組む「あんしん生活サポートセンターほっと」は、2014年10月1日に町から受託した。業務は成年後見制度の相談や申し立て支援、市民後見人の養成や指導、社協の法人後見業務、日常生活の自立支援事業などを担う。

後見制度以外にも生活困窮者への家計支援、ひきこもり者への支援活動や居場所の設置、ゴミ屋敷対応など困りごとの相談窓口としても事業展開しており、これら全ての活動が総合的に評価されての受賞となった。

市民後見人養成研修講座はこれまで35人が受講。そのうち現在は23人が登録し、10人が活動している。また、ひきこもり者の居場所として町幸町の民家を活用。町内のひきこもり者(15〜65

歳)約50人のうち、3〜4人が居場所に足を運ぶようになるなど、着実に活動の成果が表れてきている。

道内で唯一の受賞に原田会長は「大変名誉な賞をいただいた。今後も町民皆さまが安心して生活できるよう、社協の原点に帰り支援活動に励みたい」と、喜びを語った。

事業名	あんしん生活サポートセンターほっと の運営
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町からの委託事業である相談・申立支援事業、広報・普及啓発事業、市民後見人のための研修・活動支援、関係機関との連絡調整業務を行った。 ・社協事業である法人後見業務の適正な運営を行った。 ・道社協委託事業である日常生活自立支援事業の運営を行った。 ・社協独自のサービスである「ほっと暮らしサポート事業」の運営を行った。

(実績)

(1) 相談内容 (実人数の件数)

相談内容	件数	相談内容	件数
成年後見 (申立て含む)	6	軽作業	0
福祉資金貸付	2	支払い支援	0
近隣トラブル	1	生活困窮	2
相続	0	医療連携	0
引きこもり	2	その他	4
借金問題	0	合計	17

(2) 成年後見等受任状況

①個人受任

受任月	被後見人等	後見類型	市民後見人	生活状況
平成 25 年 5 月	75 歳女性	後見	中川孝敏・山内浩子	在宅
平成 28 年 8 月	75 歳男性	保佐	大場建男・貝沼由利	施設
平成 30 年 2 月	89 歳男性	保佐	山本靖博・井村ゆかり	在宅

②法人後見受任

受任月	被後見人等	後見類型	後見支援員	生活状況
平成 27 年 5 月	94 歳女性	後見	鵜田 裕子	施設
平成 28 年 2 月	85 歳女性	後見	清水 恵	施設
平成 28 年 5 月 (平成 30 年 1 月死亡により終了)	86 歳女性	後見	清水 恵	施設
平成 29 年 4 月	86 歳女性	後見	(町外施設で未委嘱)	施設
平成 29 年 7 月	75 歳男性	後見	石井 満	在宅
平成 30 年 1 月	91 歳女性	後見	中山 静男	施設
平成 30 年 12 月	91 歳男性	後見	(町外施設で未委嘱)	施設
平成 31 年 1 月	86 歳男性	後見	(未委嘱)	在宅

(3) 申立支援状況

受任月	被後見人等	後見類型	後見人等	生活状況
平成30年9月	91歳男性	後見	津別社協 北見市弁護士	施設
平成30年9月	86歳男性	後見	津別社協	在宅
平成31年3月	80歳男性	保佐	申立中	在宅

(4) 日常生活自立支援事業契約状況

契約月	利用者	自立生活専門員	生活支援員
平成30年1月	67歳男性	門脇 隆司	寺尾 玲香

(5) 津別町ほっと暮らしサポート事業契約状況

契約月	利用者	支援内容	移行予定の制度
平成29年8月	69歳男性	金銭管理、負債整理	日常生活自立支援事業
平成30年8月	80歳男性	金銭管理、買物等	成年後見申立中

(6) 会議等の開催

① あんしん生活サポートセンター運営協議会

・平成31年3月8日(金) 津別町林業研修会館

出席者 委員6人、事務局 町4人、社協4人

・協議案件 平成30年度あんしん生活サポートセンター事業報告について
平成31年度あんしん生活サポートセンター事業計画について

② あんしん生活サポートセンター受任調整会議

第1回 平成30年9月3日(月) 出席者 委員5人、事務局3人

審査案件 2件 申立の審議

報告案件 11件 申立の報告・受任後の経過報告

第2回 平成31年3月8日(金) 出席者 委員5人、事務局4人

審査案件 1件 申立の審議

報告案件については、「あんしん生活サポートセンター運営協議会」内で行った。

(7) 広報・普及啓発

① 視察対応等

日時	視察依頼先	担当
平成30年6月19日(火)	全道市町村社協会長・事務局長研究協議会分科会にて講義 札幌市	山田
平成30年6月23日(土)	北海道社会福祉士会実践研究集会にて講義 札幌市	山田・寺尾
平成30年9月4日(火)	北海道権利擁護人材養成セミナーにて講義 釧路市	山田
平成30年9月21日(金)	羽幌町成年後見制度研修会にて講義 羽幌町	山田
平成30年10月25日(木)	紋別市社会福祉協議会視察受け入れ	山田

平成30年 10月26日(金)	中標津町市民後見人養成研修にて講義	山田・寺尾
平成30年 11月7日(水)	名寄市社会福祉協議会視察受け入れ	山田
平成30年 11月16日(金)	標津町成年後見制度講演会にて講義	山田
平成30年 11月28日(水)	小清水町成年後見制度町民講演会にて講義	山田
平成30年 12月20日(木)	上士幌町権利擁護制度普及啓発事業講演会にて講義	山田
平成31年 1月19日(土)	厚岸町市民後見人フォローアップ研修会にて講義	山田
平成31年 1月21日(月)	釧路家庭裁判所家事関係機関との連絡協議会にて講義	山田

(8) 市民後見人フォローアップ研修

① 豊富町・幌延町市民後見人視察研修（兼市民後見人フォローアップ研修）

平成30年9月27日（木）～28日（金） 津別町林業研修会館

各町センターの活動報告、グループワーク「私が目指す市民後見人活動」

講師 ジャスミン権利擁護センター 代表 水戸 由子 氏

参加者 29人（内 津別町 19人）

② 権利擁護支援従事者養成研修（全国権利擁護支援ネットワーク主催事業）

平成30年11月2日（金） 北見市社会福祉協議会

講義「成年後見センター後見利用促進法等の理解と意思決定支援」

講師 弁護士 熊田 均 氏

グループワーク「権利擁護支援を軸にして」

認定NPO法人あさがお所長・理事 尾崎 史 氏

一般社団法人ジャスミン権利擁護センター 代表理事 水戸 由子 氏 他

津別町参加者 7人 町 1人 社協 2人

③ 平成30年度 オホーツク管内市民後見人活動交流会

平成30年11月21日（水） 北見市社会福祉協議会

基調講演「成年後見制度利用促進法からみた市民後見人の役割」

講師 東京大学教育学研究科 特任専門職員 東 啓二 氏、佐々木 佐織 氏

津別町参加者 10人 町 1人 社協 3人

④ 平成30年度 津別町市民後見人フォローアップ研修

平成31年3月15日（金）

講義「北見市成年後見支援センターにおける市民後見人活動」

講師 北見市社会福祉協議会 笹森 奈津美 係長

参加者 10人

(9) 専門職アドバイス事業

平成30年6月28日（木） 北見市 ともざわ法律事務所

参加者 友澤弁護士、町保健福祉課 千葉主幹、石崎主査、相内主査、山田社協局長

内容 認知症高齢者の施設入所に向けた権利侵害の考え方等についてアドバイス

(10) 研修

①地域の権利擁護支援推進のための法人後見従業者養成研修

(全国権利擁護支援ネットワーク主催事業)

- ・第1回、第2回 平成30年8月18日(土)～19日(日) 札幌市 道特会館

参加者 寺尾主事

- ・第3回、第4回 平成30年9月1日(土)～2日(日)

参加者 及川主事 寺尾主事 札幌市 北方圏学術情報センター ポルト

②成年後見センター等担当職員研修会(北海道社会福祉協議会主催事業)

- ・平成31年2月12日(火)～13日(水) 札幌市 かでる2・7

参加者 及川主事

(11) 諸会議への参加

①オホーツク管内権利擁護センター情報交換会

- ・第1回 平成30年5月16日(水) 大空町社会福祉協議会
- ・第2回 平成30年7月19日(木) 津別町社会福祉協議会
- ・第3回 平成30年9月26日(水) 北見市社会福祉協議会
- ・第4回 平成30年10月30日(火) 美幌町社会福祉協議会
- ・第5回 平成31年1月22日(火) 大空町社会福祉協議会

事業名	生活支援体制整備事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターを配置。 ・生活支援体制整備推進協議体会議を町と協働で開催。 ・生活支援コーディネーター連絡会議等への参加。 ・津別町の実践について視察対応等にて普及。
<p>(実績)</p> <p>1、生活支援コーディネーター等に関する業務</p> <p>(1) 住民主体による通いの場の創出</p> <p>①平成30年6月27日(水)</p> <p>有限会社 柳瀬食品店 柳瀬氏との情報交換・店舗見学 (柳瀬氏、町保健福祉課 千葉主幹 石崎主査、津別社協 山田事務局長 寺尾主事)</p> <p>②平成30年11月29日(木)</p> <p>第1回協議体会議にて協議 町内施設等の活用に関し、各事業所に持ち帰っていただき次回会議にて再度協議。</p> <p>(2) 関係機関との情報共有、会議等への出席</p> <p>①介護サービス事業所連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月10日(木)・平成30年6月8日(金)・平成30年7月10日(火) ・平成30年8月9日(木)・平成30年9月11日(火)・平成30年12月10日(月) ・平成31年1月10日(木) <p>②地域ケア会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月25日(金)・平成30年6月7日(木)・平成30年8月1日(水) ・平成30年9月13日(木)・平成30年9月19日(水)・平成30年11月7日(水) ・平成30年11月26日(水) <p>(3) 生活支援サポートセンター事業の実施</p> <p>2、生活支援体制整備推進協議体会議</p> <p>(1) 開催日と内容</p> <p>①第1回協議体会議 平成30年11月29日(木) 10:00~12:00 構成員15名出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告(生活支援サポート事業の現状、福祉有償運送事業の現状) ・生活支援サポーター新規登録者の拡大について ・通所型サービスの創出について ・介護職員等の確保について <p>(2) 協議体構成員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町社会福祉協議会 ・特別養護老人ホームいちいの園 ・津別町居宅介護支援事業所 ・津別町デイサービスセンター ・津別病院 ・認知症高齢者グループホーム ・ケアハウスつべつ ・夢ふうせんのか・ほんき ・株式会社びーと ・加藤信陽堂 ・土田薬局 ・柳瀬食品店 ・津別町地域包括支援センター ・津別町保健福祉課 <p>3、生活支援コーディネーターの配置</p> <p>主担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 主事 寺尾 玲香(社会福祉士)</p> <p>副担当 津別町社会福祉協議会 地域福祉係 主事 及川 弘美(社会福祉士)</p>	

4、生活支援コーディネーター研修等への参加

(1) 研修日程と内容

- ①平成30年7月24日(火) 網走市総合福祉センター 網走市社会福祉協議会
・生活支援コーディネーター懇談会 寺尾主事 出席
- ②平成30年8月7日(火)～8日(水) 網走市 網走市民会館
・コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修 寺尾主事 出席
- ③平成30年9月18日(火) 北見市 北見市端野町公民館
・オホーツク管内生活支援コーディネーター情報交換会 寺尾主事 出席
- ④平成30年12月12日(水) 札幌市 北海道自治労会館
・生活支援コーディネーター連絡会議 寺尾主事 出席

5、視察対応等

(1) 日程と内容

- ①平成31年3月2日(土) 14:00～17:00 紋別市文化会館
・社会福祉セミナーin紋別
北海道社会福祉士会オホーツク地区支部から依頼があり実践報告を行う。
内容：津別町における生活支援体制整備事業と生活支援サポート事業について

(寺尾主事、生活支援サポート(住民)2名 出席)
- ②平成31年3月29日(金) 10:00～12:00 津別町林業研修会館 2階研修室
・美幌町生活支援体制整備推進協議体視察研修 美幌町から8名来町
(町包括石崎主査、社協山田事務局長、寺尾主事)

事業名	生活支援サポートセンター事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活上の支援が必要な方が、在宅で自立した生活を営めるよう住民同士の支え合いで家事等の生活支援を行う。 ・支援希望者とサポーターのマッチング、関係機関との連絡調整を行う。 ・支え合いの活動を実施するにあたり、活動の担い手となる住民を養成するための研修会を開催。

(実績)

1、活動実績

(1) 利用登録者数 26名

(2) 利用実績

	実利用人数	延利用人数	活動時間 (分)	延べ活動サポーター数
4月	3	3	150	6
5月	5	14	510	23
6月	6	14	540	22
7月	8	19	810	33
8月	7	19	690	25
9月	7	19	810	28
10月	6	13	540	17
11月	5	16	600	20
12月	8	19	690	22
1月	5	15	570	17
2月	6	18	660	18
3月	5	18	660	18
計	71	187	7,230	249

(3) 活動内容

・お話し相手 ・室内清掃 ・散歩同行 ・ごみ出し ・ごみ分別 ・窓ふき ・台所清掃
 ・洗面台清掃 ・風呂場清掃 ・洗濯 ・調理 ・お弁当配達 ・カーテン着脱

(4) チケット利用実績

・230枚 (230×100円) = 23,000円

2、利用チケットの販売

(1) 生活支援サポートチケット

・1セット：30分 100円×5枚つづり (500円)

(2) 販売実績

・76セット (76×500円) = 38,000円

3、サポーター登録関係

(1) 生活支援サポーター養成研修の開催

①第1回養成研修

平成30年7月25日(水) 10:00~12:00 1日目 12名

平成30年7月26日(木) 10:00~12:00 2日目 14名 サポーター登録 11名

○研修プログラム

- ・介護予防の推進と生活支援体制整備について
- ・津別町の介護サービス・福祉サービスの現状と課題
- ・生活支援サポーターの役割と求められる支援
- ・当事者理解(高齢者の理解)
- ・当事者理解(認知症の理解)
- ・生活支援サポーターの活動

②生活支援サポーターフォローアップ研修

平成31年3月11日(月) 10:30~12:30 24名受講

講師 池田ひろみ氏(NPO法人北海道総合福祉研究センター事務局長)

○研修内容

- ・在宅高齢者のボランティア活動
- ・意見交換

(2) 生活支援サポーター登録者 71名 実活動者 27名

4、ポイント商品券交換申請者 13名 換券額 12,000円

事業名	ふれあい・いきいきサロン活動の推進
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのサロン活動にスタッフの派遣を行い支援してきた。 ・地域でのサロン活動の立ち上げに、職員を派遣し一緒になって進めてきた。 ・他地区との交流を含めた、サロン交流会を開催した。 ・運動特化型サロンを継続し、身体機能維持を目的に開催した。 ・サロン活動をより活発化するため、サロン担当者会議を開催した。

(1) 地区サロンの開催状況

サロン名	開催回数	参加延人員	備考
高台町ほのぼのサロン	12回	151人	
柏町いきいきサロン	11回	170人	・福祉バス利用
相生あいあいサロン	11回	119人	・福祉バス利用 ・講師派遣依頼
本岐地区いきいきサロン	12回	274人	・福祉バス利用
豊永第4げんきサロン	12回	394人	・福祉バス利用 ・講師派遣依頼
東達美いきいきサロン	10回	147人	
東町ふれあいサロン	12回	253人	
旭町おさんぽ・ぽっと	12回	199人	・講師派遣依頼
活汲おげんきサロン	12回	264人	・講師派遣依頼
計 9地区	104回	1,971人	

(2) 地区サロン立上げ支援の状況

- ・8月22日(水) 本町自治会サロン体験会(町包括石崎保健師・寺尾主事)
本町自治会・幸町自治会より 13名 参加
かるっちゃ体操、いきいき百歳体操 体験

(3) 運動サロンの開催状況

① 共和はつらつ健康サロン開催状況(対象地域: 共和2・共和3・共和4・豊永3自治会)

月	開催回数	参加延人数	備考
4月	2回	36人	高間運動指導士、スタッフ
5月	2回	32人	高間運動指導士、スタッフ
6月	2回	33人	高間運動指導士、スタッフ
7月	2回	24人	高間運動指導士、スタッフ
8月	2回	20人	高間運動指導士、スタッフ
9月	2回	23人	高間運動指導士、スタッフ

10月	2回	26人	体力測定、日赤看護大学:山本教授、高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	27人	高間運動指導士、スタッフ
12月	1回	15人	高間運動指導士、スタッフ
1月	2回	28人	高間運動指導士、スタッフ
2月	2回	31人	高間運動指導士、スタッフ
3月	2回	30人	体力測定、日赤看護大学:山本教授 高間運動指導士、スタッフ、修了式
計	23回	325人	

②西町さわやか健康サロン開催状況(対象地域:西町・緑町1・緑町2・緑町3自治会)

月	開催回数	参加延人数	備 考
4月	2回	25人	高間運動指導士、スタッフ
5月	2回	22人	高間運動指導士、スタッフ
6月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
7月	2回	19人	高間運動指導士、スタッフ
8月	2回	17人	高間運動指導士、スタッフ
9月	2回	21人	高間運動指導士、スタッフ
10月	2回	20人	体力測定、高間運動指導士、スタッフ
11月	2回	22人	高間運動指導士、スタッフ
12月	2回	26人	高間運動指導士、スタッフ
1月	2回	24人	高間運動指導士、スタッフ
2月	2回	25人	高間運動指導士、スタッフ
3月	2回	23人	体力測定、日赤看護大学:山本教授 高間運動指導士、スタッフ、修了式
計	24回	265人	

(4) サロン担当者会議の開催

日時・場所 平成30年4月11日(水)13時30分から15時 津別町社会福祉協議会 会議室内

内 容 ①各サロンの活動状況と課題

②助成金交付申請について

③レクリエーション用具の借入先について

④その他(講師等派遣、福祉バス使用、サロン交流会開催について)

出席者 サロン運営者

高台町2名・柏町2名・相生1名・豊永第4 1人・東達美1人・東町2人

旭町3名・活汲3名・共和1人

地域包括支援センター1人・社会福祉協議会3人

合計20人

(5) サロン交流会の開催

日時・場所 平成30年10月18日(木) 10時30分から13時 津別町中央公民館

内 容 ①「楽しみながらからだを動かそう！」

講師 スポーツプラザ進化塾 渡辺 靖徳 氏

②「かるっちゃ体操STEP」

指導 サロンスタッフ 藤岡氏・井村氏・加藤氏

③「新規サロン報告」

活汲おげんきサロン 代表 高橋 朝子 氏

参加者

高台9名・柏町7名・相生10名・本岐7名・豊永第4 14名・東達美4名

東町22名・旭町3 7名・活汲14名

共和はつらつ運動10名・西町さわやか運動9名

幸町自治会2名

関係機関含めて合計 140名

昼食賄い 赤十字奉仕団の協力

(6) 平成30年度「かるっちゃ体操STEP」の普及について打ち合わせ

日時・場所 平成30年4月16日(月) 9時30分から10時40分 津別町役場 相談室

内 容 ①生涯学習課としての普及計画

②サロン内での普及の様子

③今後について

出席者

地域包括支援センター 石崎保健師

町社会教育グループ 石川主幹、谷口主査

社会福祉協議会 及川主事、寺尾主事

事業名	認知症地域支援・ケア向上事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症地域支援推進員を受託し、認知症の人や地域住民が集い交流できるよう、認知症カフェの設置を行う。 ・認知症に関する普及・啓発のため、出前講座等を行う。 ・認知症地域支援推進員としての資質向上のため、研修会等に参加する。 ・認知症の人に対し、適切なサービスが提供されるよう、関係機関との連携を図る。

(実績)

1、認知症カフェ(名称:ちよこつと茶屋(カフェ))の設置

(1) 開設日と開催結果

	開催日	参加人数	ボランティア (職員含)	計	昼食
第1回	9月25日	20人	17人	37人	赤飯・サラダ等
第2回	10月23日	21人	18人	39人	ちらし寿司・きのこ汁等
第3回	11月27日	20人	16人	36人	まぜごはん・ぶり大根等
第4回	12月25日	24人	14人	38人	シチュー・おにぎり等
第5回	1月29日	18人	11人	29人	ちらし寿司・酢の物等
第6回	2月26日	28人	15人	43人	うどん・いなりずし等
第7回	3月26日	28人	14人	42人	おこわ・煮物等
延人数		159人	105人	264人	

(2) 認知症カフェ設置に向けた取組み

①先進地視察

平成30年7月30日(月) 14:00~15:30 網走市認知症カフェあえる

- ・開催の様子を見学
- ・担当職員との意見交換

視察者 ボランティア2名 役場1名 社協2名 計5名

②認知症カフェ準備委員会の開催

	開催日	主な内容
第1回	5月15日(火)	認知症カフェ準備委員会立上げ、目的・対象者など検討
第2回	6月22日(金)	運営ボランティア募集開始、場所・利用料金など検討
第3回	7月19日(木)	開設日の決定、名称募集
第4回	9月7日(金)	名称の決定、オープンへ向けた最終確認

2、認知症地域支援推進員研修会等への参加

(1) 認知症地域支援推進員研修(新任者研修)

平成30年8月22日(水)~23日(木) TKP 札幌駅カンファレンスセンター

- ・認知症施策の動向と推進員の役割の理解
- ・認知症の人と家族を地域で支える支援体制のポイント
- ・推進員活動の実効性を上げるためのプロセス ~PDCA サイクル活動計画~
- ・推進員同士のネットワークづくり

及川主事 出席

(2) オホーツク管内認知症地域支援推進ネットワーク会議

平成30年10月29日(月) 13:00~16:00 オホーツク合同庁舎

- ・認知症地域支援推進員の活動報告
- ・情報交換、意見交換

及川主事 出席

(3) キャラバン・メイト養成研修

平成30年12月11日(火) 9:45~16:35 オホーツク総合振興局

- ・認知症や対応の仕方の理解
- ・サポーター養成講座の運営等について演習

及川主事 出席

事業名	福祉有償運送事業（移送サービス）																																																												
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の障がいや傷病等により通常の交通手段での移動に制約がある高齢者及び障がい者の社会参加を促進し、在宅福祉の推進を図るため移送サービスを行う。 ・運賃は2kまで260円で、2k以上は1kごとに120円。 																																																												
（実績と評価）																																																													
<p>(1) 福祉有償運送運営協議会（山田事務局長は運営委員） 平成31年2月12日（火）林研図書室 出席者 門協係長</p> <p>(2) 福祉有償運送事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送運転手講習 平成30年4月7日（土）～ 8日（日） 網走市 受講者3名（内事務局3名） ・陸運支局に自家用有償旅客運送（福祉有償運送）の更新登録申請 平成31年3月26日（火） ・自家用有償旅客運送者登録関係（福祉有償運送） 登録番号 北北福第30号 登録年月日 平成29年6月21日（北運企第129号） 登録の有効期間 2019年4月1日から2022年3月31日 ・車両台数 4台（内車イス対応車2台） 共同募金寄贈車 工藤工務店寄贈車（車イス対応車） 津別町無償貸与車（車イス対応車） 社協活動車（予備車） ・運転手 8名（内事務局4名） ・登録者数 166名（平成31年3月末） ・利用実績（平成30年度） <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実利用人数</th> <th>延利用回数</th> <th>利用金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>34名</td><td>168回</td><td>174,600円</td></tr> <tr><td>5月</td><td>36名</td><td>167回</td><td>178,940円</td></tr> <tr><td>6月</td><td>44名</td><td>233回</td><td>288,940円</td></tr> <tr><td>7月</td><td>44名</td><td>202回</td><td>237,920円</td></tr> <tr><td>8月</td><td>39名</td><td>215回</td><td>242,020円</td></tr> <tr><td>9月</td><td>41名</td><td>196回</td><td>220,280円</td></tr> <tr><td>10月</td><td>45名</td><td>247回</td><td>257,660円</td></tr> <tr><td>11月</td><td>50名</td><td>241回</td><td>257,780円</td></tr> <tr><td>12月</td><td>47名</td><td>227回</td><td>209,620円</td></tr> <tr><td>1月</td><td>53名</td><td>226回</td><td>217,040円</td></tr> <tr><td>2月</td><td>48名</td><td>196回</td><td>196,680円</td></tr> <tr><td>3月</td><td>43名</td><td>227回</td><td>200,020円</td></tr> <tr> <td>合計</td> <td>月平均 43.7名</td> <td>延利用回数 2,545回</td> <td>利用金額 2,681,500円</td> </tr> </tbody> </table> ・行き先別延回数 津別町内 1,755回 美幌町 495回 北見市 253回 網走市 22回 						月	実利用人数	延利用回数	利用金額	4月	34名	168回	174,600円	5月	36名	167回	178,940円	6月	44名	233回	288,940円	7月	44名	202回	237,920円	8月	39名	215回	242,020円	9月	41名	196回	220,280円	10月	45名	247回	257,660円	11月	50名	241回	257,780円	12月	47名	227回	209,620円	1月	53名	226回	217,040円	2月	48名	196回	196,680円	3月	43名	227回	200,020円	合計	月平均 43.7名	延利用回数 2,545回	利用金額 2,681,500円
月	実利用人数	延利用回数	利用金額																																																										
4月	34名	168回	174,600円																																																										
5月	36名	167回	178,940円																																																										
6月	44名	233回	288,940円																																																										
7月	44名	202回	237,920円																																																										
8月	39名	215回	242,020円																																																										
9月	41名	196回	220,280円																																																										
10月	45名	247回	257,660円																																																										
11月	50名	241回	257,780円																																																										
12月	47名	227回	209,620円																																																										
1月	53名	226回	217,040円																																																										
2月	48名	196回	196,680円																																																										
3月	43名	227回	200,020円																																																										
合計	月平均 43.7名	延利用回数 2,545回	利用金額 2,681,500円																																																										

事業名	障がい者・生活困窮者（ひきこもり者）等の働く場の創出事業	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度から実施している地域相互支援型自治体推進モデル研究事業の調査結果により、津別町内には長期の引きこもり者が 18 歳以上 64 歳未満の 2 %（約 50 人）に上り、そのほとんどが 40 代以上の中高齢になっており、早急な対応が求められている。 平成 28 年度からは、旭町第 3 自治会と活汲中央自治会をモデル地区として「身近な福祉相談所ぽっと」を月 2 回開設し、住民の担い手と役場・社会福祉協議会の専門職とが連携して、ひきこもり者や生活困窮者等の個別支援、地域支援を行ってきている。 また、ひきこもり者や精神障がい者等の「居場所」の開設や平成 29 年度から始めた「中間的就労の場」づくりである「社協あぐり（農園）」の開設を通しながら、障がい者やひきこもり者を含めた生活困窮者が安心して暮らせる環境整備を図っていく。 	
(実績)		
1. 「居場所」の取り組み		
①居場所の目的		
津別町内にて自宅でひきこもり中心の生活を送っている方、または社会との繋がりが乏しい方同士が居場所に集まり、軽作業や社協事業のボランティアを通し、人間関係の構築や協調性を養う場となるよう活動する。最終的には仲間意識の醸成、社会との繋がり(ボランティア・就労など)を目指し、支援を受けても自らが判断し生活ができる事を目的とする。		
②居場所の対象者		
<ul style="list-style-type: none"> 疾患等がないが社会との結びつきが薄い方 精神疾患、知的障がい、発達障がいにより家族以外との接点がない方 就労しているが、就労日以外で外出がしたい方 年齢関係なく人との接点を持ちたい方 		
※障がい福祉など制度の適用外の居場所として、制度のはざまの人たちも対象		
③居場所開催時期等		
<ul style="list-style-type: none"> 開催曜日 当初は月曜日から金曜日の常設をしていたが、支援員配置やひきこもり者の利用人数等により、平成 30 年 6 月からは月定例 1 日と随時開所に変更になった。 開催時間 午前 10 時から午後 2 時 		
④居場所の運営		
今後、支援員や社協担当職員向けの視察研修及びひきこもり支援の講師を招いた学習会、船橋市のララホーム山田賢明氏からの助言などを受けながら、津別町の特長に合わせた居場所づくりを目指すものである。		
⑤居場所の取り組み		
月 日	業 務 内 容	備 考
平成 30 年 4 月 1 日	居場所支援員雇用（臨時職員常勤） 雇用期間 H31. 3. 31 まで	津別町字旭町 清水由美子 氏
4 月 2 日	津別町と障がい者・生活困窮者等の働く場の創出 事業業務委託契約締結	委託者 津別町長 委託料 3, 500 千円
4 月 19 日	ひきこもり支援視察研修報告会 参加者 20 人 視察参加メンバーのそれぞれから感想と特長について報告と今後に向けて協議	
5 月 16 日	ひきこもり支援・居場所運営委員会 町 8 人・社協 3 人 計 11 人 居場所の位置付けと運営	この間のひきこもり 支援の経緯と現状の 取り組み

月 日	業 務 内 容	備 考
5月30日	居場所支援職員 清水由美子氏退職	
6月1日	本日から居場所は、月1回定例開所、ほかは必要に応じ随時開所となる。	
6月1日	居場所臨時支援員 林 淳子氏雇用 雇用期間 H31.3.31	月1回雇用
6月27日	ひきこもり居場所事業打合せ協議 山田賢明氏・ぴーと・役場・社協 合計 8人	
8月4日	「広がれ！こども食堂の輪 全国ツアーin 道東」 にて、津別町のひきこもり支援の実践報告を行った。	会場 帯広市
2月28日	津別町と障がい者・生活困窮者等の働く場の創出 事業業務委託変更契約締結	変更後の委託料 1,400千円
3月22日	ひきこもり支援者向け学習会 講師 小樽不登校・ひきこもり家族交流会 世話人 鈴木 祐子 氏	町・社協・ぴーと 計 11人出席
3月22日	ひきこもり家族向け学習会 講師 小樽不登校・ひきこもり家族交流会 世話人 鈴木 祐子 氏	家族 4人出席 町・社協関係者 5人

⑥居場所利用状況

月	開所日数	利用者数	関係者利用数	備考
4月	20日	8人	15人	
5月	14日	6人	6人	
6月	2日	3人	4人	
7月	0日	—	—	
8月	2日	3人	5人	
9月	0日	—	—	
10月	1日	1人	2人	
11月	3日	6人	12人	11/26 サークルびゅあ例会
12月	1日	3人	2人	
1月	0日	—	—	
2月	2日	8人	8人	2/25 サークルびゅあ例会
3月	2日	7人	9人	3/22 ひきこもり家族学習会
計	47日	45人	63人	

2. 中間的就労の場である社協めぐり（農園）の取り組み

①社協めぐりの目的

ひきこもり者と地域住民とが交流を図るため、農園づくりを通してながら農作物の生長過程など、モノをつくる喜びを分かち合うとともに、共同での作業を通してながら孤立感をなくしていこうとするものである。

②社協めぐりの作業経過

月 日	業 務 内 容	備 考
平成30年 4月2日	障がい者・生活困窮者等の働く場の創出 事業業務委託契約締結	委託者 津別町長 委託料 3,500千円
5月1日	社協めぐり運営委員会 10人参加	旭昇園

月 日	業 務 内 容	備 考
5月18日	社協あぐり畑ロータリーかけ	
5月25日	野菜種・苗植え(14人) (イモ、玉ねぎ、トウキビ、春大根、 黒大豆、カボチャ、野菜苗～トマト、 なすび、ししとう)	寄贈苗～玉ねぎ(羽田野)、カボチャ(高橋)、トマト・なすび・ししとう(及川)
6月20日	草取り(14人)	
7月14日	畑ロータリーかけ	
7月20日	草取り(19人)	
7月27日	NHKおはよう北海道土曜プレスで 「8050問題」特集で津別町のあぐりの 取り組みが紹介される。	
8月2日	草取り(16人)	
8月13日	畑ロータリーかけ	
8月27日	草取りと収穫作業(13人)	玉ねぎ、イモの収穫
9月14日	野菜収穫と収穫祭(15人) 収穫祭は、町民会館でカレーライス と枝豆を茹で実施した。	トウキビ、枝豆
10月19日	野菜収穫(16人) 大根、カボチャ	
10月21日	つべつ産業まつりに出店(8人) 大根5本・300円で出店	280本程度出店
10月31日	大根の粗漬け作業(4人)	4斗樽×2
11月19日	大根の粕漬け準備(2人)	粕に醤油、砂糖を混ぜ合わせる
11月20日	大根の粕漬け作業(6人)	4斗樽2つに漬ける 漬け物は、各地区サロンや社協主催の一人暮らしの集い、ちよこつと茶屋で使用する。

地域相互支援型自治体推進モデル構築研究事業

事業名	地域相互支援型自治体推進モデル構築研究事業						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立大学と北海道総合研究調査会（HIT）との共同研究事業は4年目となり、平成28年10月、11月と開設された旭町第3と活汲中央自治会の「身近な福祉相談所ぽっと」は、月2回開設され、町と社協職員との協働による地域の総合相談拠点づくりが行われている。また、旭町第3では、月1回サロン形式による「おさんぽ・ぽっと」も開所となり、毎月15人前後の高齢者が集うようになっている。活汲中央自治会でも30年3月に「お元気サロン」が立ち上がるなど地域内の活性化につながっている。 ・平成30年度においては、新たなぽっとの地区として、豊永第3と緑町第2自治会が立ち上がり、月2回のぽっとを担い手と町・社協職員との協働で開所している。 ・相談事業と合わせ、ひきこもり者等の社会的孤立者への支援として地方創生推進交付金を活用した居場所や社協あぐりの取り組みなど、この事業から派生した地域づくりへの活動につながってきている。 						
(実績と評価)							
1. プロジェクト会議の開催							
< 構成員 > 大阪市立大学（野村恭代准教授）、北海道総合研究調査会 HIT（切通堅太郎調査部長） 町保健福祉課（小野課長、千葉主幹、青柳主査、向平主査、丸尾主査） 町社協（山田局長、門脇係長、及川主事、寺尾主事）							
① 5月10日～11日							
② 6月25日～26日							
③ 8月2日							
④ 10月23日							
⑤ 12月13日							
⑥ 2月4日							
⑦ 3月18日							
2. 身近な福祉相談所「ぽっと」の活動							
(1) 旭町第3自治会							
	65歳以上高齢者				高齢者数	高齢化率%	介護認定者
	同居	夫婦	独居	計			
旭町第3	20	24	21	65	103	53.64	11
	30.8%	36.9%	32.3%	100%	96世帯 192人		16.9%
町計	366	507	609	1,482	2,110	43.15%	376
	24.7%	34.2%	41.1%	100%			17.8%
平成28年10月から、第1・第3水曜日の10時～12時まで、旭昇園を会場に、担い手10人前後と、町保健福祉課・社協職員が加わり、地域内の要支援者等の情報共有や町や社協の動き等について協議を行っている。							
平成29年8月から第1水曜日は、地域内の見守り等が必要な高齢者が集える場として「おさんぽ・ぽっと」を開設。12～13名が参加し、その運営は担い手が行っている。今年8月5日には、おさんぽ・ぽっとのメンバーが子ども会の七夕まつりに参加するなど、多世代交流にもつながっている。							
また、昨年度から始まっているひきこもり対策等の一環である「社協あぐり（農園）」の中心的メンバーはぽっとの担い手の人たちである。							
(2) 活汲中央自治会							
	65歳以上高齢者				高齢者数	高齢化率%	介護認定者
	同居	夫婦	独居	計			
活汲中央	19	12	16	47	70	37.43%	17
	40.4%	25.5%	34.1%	100%	77世帯 187人		24.3%
町計	366	507	609	1,482	2,110	43.15%	376
	24.7%	34.2%	41.1%	100%			17.8%

活汲中央自治会は、平成28年11月から、第2・第4火曜日に活汲農業研修センターを会場に身近な福祉相談所を開設。担い手は6人と町・社協職員の協働で、要支援者等の情報共有を行っている。早くから情報把握のため2～3人1組になったの訪問活動を行っている。訪問した様子等は報告して記録をとり、情報共有を行っている。世帯の把握はもちろんのこと、要支援者が入院等の場合は自ら入院して不在になることを伝えに来るなど、住民との関係作りが進んでいる。

担い手は自治会役員や民生委員が中心なので、月2回顔を合わせることで自治会事業の打合せ等も可能となり、防災研修会の開催など自治会活動の活性化にもつながっている。また、平成30年3月には別なグループがサロンを立ち上げる、平成30年8月には3年ぶりに地域の盆踊りが青年層中心に復活するなど、ぽっとが間接的に活汲地域の活性化にもつながってきている。

3. ぽっとの拡大に向けた取り組み状況

ぽっとの拡大に向けて2か所の新規拡大を目指し取り組んできた。

(1) 豊永第3自治会

	65歳以上高齢者				高齢者数	高齢化率%	介護認定者
	同居	夫婦	独居	計			
豊永第3	12	30	21	63	97	46.85%	12
	19.1%	47.6%	33.3%	100%			
町計	366	507	609	1,482	2,110	43.15%	376
	24.7%	34.2%	41.1%	100%			

①自治会役員会での説明

平成30年5月9日(水) 18:30～ 豊永寿の家

平成30年6月26日(火) 18:30～ 豊永寿の家

②全体での説明

平成30年10月14日(土) 11:00～ 豊永寿の家

豊永第3自治会高齢者感謝祭の場で、身近な福祉相談所開設に向けた説明を行った。
30名程度の参加

③平成30年11月28日開所。以降、第2・第4水曜日午後2時～4時

豊永寿の家を拠点に、担い手(自治会役員7～8人+3人ほど)を中心に活動

(2) 緑町第2自治会

	65歳以上高齢者				高齢者数	高齢化率%	介護認定者
	同居	夫婦	独居	計			
緑町第2	12	22	16	50	75	45.45%	7
	24.0%	44.0%	32.0%	100%			
町計	366	507	609	1,482	2,110	43.15%	376
	24.7%	34.2%	41.1%	100%			

①自治会役員会での説明

平成30年6月27日(水) 18:30～ 西町寿の家

②地域住民による座談会

平成30年10月17日(水) 10:00～ 西町寿の家

住民12人、町・社協職員5人によるグループワークで、相談体制についてをテーマに討論を行った。

③担い手の人たち(座談会に参加した人が中心に)による座談会

平成31年1月31日(木) 10:00～ 西町寿の家

担い手(自治会役員、民生委員中心に9人)と役場・社協職員で今後の活動、及び独居高齢者の状況等確認。

平成31年2月14日(木) 午前10時から開所。

以降、第2・第4木曜日10時開設

多機関の協働による包括的支援体制構築事業

事業名	多機関の協働による包括的支援体制構築事業への参画																					
内容	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省は、対象者ごとに整備された「縦割り」の公的福祉サービスを「丸ごと」へと転換していくため、サービスや専門人材の養成など進めていくことを意識し、平成 29 年度より地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業として、「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を推進している。 津別町では、この国のモデル事業を平成 30 年度から受託し、社協もその構成員の一員として、これまで関わってきた地域相互支援型自治体推進モデル構築事業による身近な福祉相談所ぽっとの関係から、より積極的な参画として活動を展開してきた。 																					
(実績と評価)																						
(1) 「多機関の協働による包括的支援体制構築に伴うネットワーク会議」について																						
①ネットワーク会議の目的																						
<p>これまでの「地域相互支援型自治体推進モデル」により「ぽっと」を開設し、住民に身近な圏域の「我が事・丸ごと」で受け止める環境ができつつある一方、町として、さらに「丸ごと」を受け止める専門職や場が必要であるとの認識に基づき、各分野の制度・社会資源、専門性を基礎としながら、包括的な支援体制の構築へとつなげていくことを目的として、「多機関の協働による包括的支援体制構築に伴うネットワーク会議」（以下ネットワーク会議）を展開することとした。</p>																						
②ネットワーク会議の実施概要																						
ネットワーク会議の開催日時と主な協議事項は次のとおり。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日時</th> <th>主な協議事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>平成 30 年 8 月 3 日 10:00～</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> これまでの取組と事業の概要及び今後のスケジュールについて説明 行政・専門職・地域の担い手の協働による組合相談の展開について説明 意見交換 </td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>平成 30 年 10 月 24 日 10:00～</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例（1 事例）の検討 身近な総合相談所ぽっとの報告 </td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>平成 30 年 11 月 9 日 15:30～</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例（1 事例）の検討 </td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>平成 30 年 12 月 14 日 9:30～</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例の検討（2 事例継続） </td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>平成 31 年 2 月 5 日 9:30～</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 検討事例の支援状況報告（2 事例継続） 支援困難事例の検討（1 事例） 身近な総合相談所ぽっとの報告 </td> </tr> <tr> <td>第 6 回</td> <td>平成 31 年 3 月 19 日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 検討事例の支援状況報告（3 事例） ネットワーク会議概要、成果と課題について報告 次年度の取組に関して協議 道外視察報告 </td> </tr> </tbody> </table>	回	日時	主な協議事項	第 1 回	平成 30 年 8 月 3 日 10:00～	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組と事業の概要及び今後のスケジュールについて説明 行政・専門職・地域の担い手の協働による組合相談の展開について説明 意見交換 	第 2 回	平成 30 年 10 月 24 日 10:00～	<ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例（1 事例）の検討 身近な総合相談所ぽっとの報告 	第 3 回	平成 30 年 11 月 9 日 15:30～	<ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例（1 事例）の検討 	第 4 回	平成 30 年 12 月 14 日 9:30～	<ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例の検討（2 事例継続） 	第 5 回	平成 31 年 2 月 5 日 9:30～	<ul style="list-style-type: none"> 検討事例の支援状況報告（2 事例継続） 支援困難事例の検討（1 事例） 身近な総合相談所ぽっとの報告 	第 6 回	平成 31 年 3 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> 検討事例の支援状況報告（3 事例） ネットワーク会議概要、成果と課題について報告 次年度の取組に関して協議 道外視察報告 	
回	日時	主な協議事項																				
第 1 回	平成 30 年 8 月 3 日 10:00～	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組と事業の概要及び今後のスケジュールについて説明 行政・専門職・地域の担い手の協働による組合相談の展開について説明 意見交換 																				
第 2 回	平成 30 年 10 月 24 日 10:00～	<ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例（1 事例）の検討 身近な総合相談所ぽっとの報告 																				
第 3 回	平成 30 年 11 月 9 日 15:30～	<ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例（1 事例）の検討 																				
第 4 回	平成 30 年 12 月 14 日 9:30～	<ul style="list-style-type: none"> 支援困難事例の検討（2 事例継続） 																				
第 5 回	平成 31 年 2 月 5 日 9:30～	<ul style="list-style-type: none"> 検討事例の支援状況報告（2 事例継続） 支援困難事例の検討（1 事例） 身近な総合相談所ぽっとの報告 																				
第 6 回	平成 31 年 3 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> 検討事例の支援状況報告（3 事例） ネットワーク会議概要、成果と課題について報告 次年度の取組に関して協議 道外視察報告 																				
③ネットワーク会議構成メンバー																						
<p>ネットワーク会議構成メンバーは次のとおり。なお、第 1 回目と第 6 回目については全員に参加を促し、第 2～4 回目については、事例に関係する方に参加を要請した。</p>																						
<ul style="list-style-type: none"> 津別町保健福祉課 ・津別町社会福祉協議会 ・津別町居宅介護支援事業所 津別町特別養護老人ホームいちいの園 ・津別町デイサービスセンター ・津別病院 グループホーム ほのぼの ・ケアハウス つべつ ・夢ふうせん ののか・ほんき 																						

- ・株式会社 ビーと
- ・NPO 法人津別町手をつなぐ育成会
- ・津別町地域包括支援センター
- ・津別町社会福祉協議会訪問介護事業所
- ・オホーツク総合振興局社会福祉課
- ・オホーツク総合振興局北見保健所
- ・オホーツク総合振興局北見児童相談所
- ・オホーツク若者サポートステーション
- ・生活困窮者自立センターふくろう
- ・広域相談サロンくらしネットオホーツク
- ・津別町民生委員児童委員協議会
- ・津別町自治会連合会
- ・旭町第3自治会 ぽっと
- ・活汲中央自治会 ぽっと
- ・美幌警察署津別派出所
- ・美幌・津別広域事務組合津別消防署
- ・津別町障がい相談支援事業所
- ・津別町要保護児童対策地域協議会

④ネットワーク会議の成果

ネットワーク会議を開催するに至った過程、会議の準備及び開催を通して得られた成果として、次のとおり整理することができる。

1) 制度の狭間にいる・複合課題を抱える「世帯」への個別支援実施

今回ネットワーク会議で取り扱った事例は、これまで役場や教育機関が主に関わってきた人を切り口として、支援が開始されている事例であり、支援が行き詰まっている面もあったいわゆる困難事例であった。そうした事例を今回のネットワーク会議では「個人」ではなく、「世帯」全体として取り扱い議論を重ねてきた。制度の枠組みで支援を行う場合には、制度の対象とする「個人」に対し支援を行う傾向があり、制度の枠の中での支援にとどまっていたが、今回複合的課題を抱える「世帯」全体を対象として支援を検討することにより、課題に対し、多面的にアプローチすることが可能となり、その視点に関係者間で共有できたことは成果の一つであると言える。

2) 予防的な効果

上記の視点に基づき支援を行うことは、対象者の状態の重度化・複雑化を予防しているとも言える。もし、今回のネットワーク会議においても、従来のケース会議のように「個」に焦点をあて支援を検討した場合、アセスメントや支援が限定的になっていた可能性がある。今回多くの関係者が集まって議論することで、支援対象者本人の状態像への新たな気づきや事態の深刻化を防ぐ効果はあったと考えられる。さらに言えば、「ぽっと」とこのネットワーク会議が有機的に展開することで、津別町民全体に対し、予防的な効果を期待することもできるだろう。新たな相談拠点の設置を視野にいれていく場合には、こうした予防的な効果が地域にもあるということを十分に理解する必要がある。

3) それぞれの専門分野の知見の活用

複合的で複雑な課題を持つ事例の場合、その支援方法については多様な知識を用いて様々な選択肢の可能性を想定する必要がある。今回のネットワーク会議においては、津別町内にとどまらず、多くの専門的な知識を有する専門職、機関に参画して頂いた。また、そこでは住民も参加することで、専門家の目線のみならず、住民の目線も含めての、アセスメントや支援の方針・見立てについて多角的に分析することができたことも大きな成果であった。こうした専門的知識の活用は、今後、相談支援拠点「ぽっと」での対応の後ろ支えとして機能する可能性を示している。

4) 「ぽっと」の取り組みについて情報共有

今回のネットワーク会議の目的の一つとして、津別町がこれまで取り組んできて、今後も拡大を想定している「ぽっと」について、関係者の認識を共有化してもらうことがあった。「ぽっと」での事例は、今回のネットワーク会議で取り扱う事例としては、準備が間に合わず議論の遡上には上がっていないが、今後ネットワーク会議で議論されることで、町内で機能している「ぽっと」の役割がよりその機能を発揮することが期待される。また、「ぽっと」に対しては、現在、役場と社協のみのコミットであるが、ネットワークメンバーが関与することでより一層、津別町を管轄する福祉事業者、津別町住民にとって好影響につながることを期待される。

(2) 先進事例の取り組みについて (視察報告)

①視察先の目的

津別町でのネットワーク会議及び「ぽっと」の効果的な展開等にむけて、今後の参考となる取り組みを既に実践している地域に対し視察を行い、津別町の取り組みの参考とすることを目的に次のとおりの先進事例視察を行った。

②視察概要

1) 道外事例・鹿児島県大和村

日時	場所	参加者
平成 31 年 2 月 8 日 午前 10 時	・大和村役場 ・大和村社会福祉協議会	保健福祉課長 小野 淳子 " 主査 樋口 大介
平成 31 年 2 月 8 日 午後 1 時	・旧戸円小学校 ・すももの会	" 主事 河野 優里奈 社会福祉協議会事務局長 山田 英孝
平成 31 年 2 月 8 日 午後 3 時	・大榎商店 ・結の会	" 主事 寺尾 玲香 H I T 研究員 西口 千晶

2) 道内事例・京極町・広尾町

日時	場所	参加者
平成 31 年 3 月 25 日 午前 10 時	・京極町役場 ・京極町共生型地域福祉拠点 きょう・ここ	保健福祉課主幹 千葉 誠 " 主査 樋口 大介 " 主事 河野 優里奈
平成 31 年 3 月 26 日 午前 10 時	・広尾町役場	社会福祉協議会事務局長 山田 英孝 " 主事 寺尾 玲香

事業名	第27回つべつふれあい広場
内容	・「ふれあう心を大切に・みんなで支え合う町に」を掲げ関係機関と連携を図り、町内で実施している福祉の情報発信を行います。
(実績と評価)	
<p>■開催日時 平成30年7月29日(日) 10:00 ~ 14:00 (会場準備 前日9:00から)</p> <p>■開催場所 中央公民館 来場者 300名</p> <p>■実行委員団体 24団体</p> <p>■内容</p> <p>□ふれあいの店・各種コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼鳥、焼きそば ・芋もち ・ポップコーン無料配布 ・ごぼう茶販売 ・アイス販売 ・友愛セール ・ブタ汁 ・小物販売・手作りエコクラフト ・カフェコーナー ・健康づくり、介護相談コーナー・ヨーヨー釣り ・車いす体験 ・福祉車両紹介 ・啓発活動 ・募金活動 ・小物づくりコーナー ・収集コーナー ・作品展示 ・高齢者レクリエーション用具体験 ・飲み物販売 <p>□福祉講演会</p> <p>講師 ユニバーサルデザイン 有限会社 環工房 代表取締役 牧野准子 氏</p> <p>□お楽しみ抽選会(2回) ~ 12:00から 13:30から</p> <p>景品提供商店等 17事業所 景品数 83点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回実行委員会 平成30年6月1日(金) 15:00 ~ ・第2回実行委員会 平成30年7月9日(月) 15:00 ~ 	

事業名	生活福祉資金貸付事業
内容	・北海道社会福祉協議会の貸付事業。低所得者世帯等が生活資金、修学資金等を借りたい場合の相談業務や事務手続きを行います。
(実績と評価)	
<p>□新規貸付実績 無し</p> <p>□継続案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金 福祉費(障害自動車の購入経費) 1件 貸付金額 1,505,000円 ※平成25年3月25日貸付。平成25年9月26日より償還開始 (最終償還期限日 2021年9月25日) ・生活福祉資金 教育支援資金(教育支援費) 1件 貸付金額 1,440,000円 内容 ~ 専門学校への進学のための費用 ※平成30年3月で貸付終了。9月26日より償還開始(最終償還期限日 2032年9月25日) 	

事業名	あんしん電話（緊急通報装置）の推進
内容	・独居高齢者などの不安解消と急病などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図るため、ボタンを押すと近隣の協力者に通報がいく装置の設置を推進する。
(実績)	
<p>1、平成30年度の設置者 11名（1名解約） ※新規申込みなし</p> <p>2、装置使用料金の助成 ・月額使用料 380円 ・助成金額 1ヶ月180円 ・10月期（4月～9月）、4月期（10月～3月）の2回助成を行う</p> <p>3、幹旋機種 シルバーフォンあんしんS 【取り扱い業者】 NTT東日本 北海道 北見支店</p>	

事業名	ひとり暮らしの集い
内容	・在宅高齢者の社会参加の促進と安否確認のため、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に交流の場として、年2回（7月・1月）開催する。
(実績)	
<p>1、集いの開催</p> <p>(1) 第1回ひとり暮らしの集い 日時 平成30年7月11日（水）11:00～13:00 北海道でてこいランド 参加者 64名 ボランティア 21名 役職員 8名 来賓 竹俣副町長 内容 ①ジンギスカンを囲んでの会食 ②おたのしみ抽選会</p> <p>(2) 第2回ひとり暮らしの集い 日時 平成31年1月16日（水）11:00～13:00 町民会館 参加者 61名 ボランティア 23名 役職員 7名 出演者 5名 内容 ①体操「簡単にできる脳トレ体操」 担当 津別社協 寺尾主事 ②鍋を囲んでの会食 ③余興「オカリナ演奏」 オカリナPOPO☆ロン ④おたのしみ抽選会</p> <p>1、周知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の70歳以上ひとり暮らし世帯に対し、集い開催情報を記載した年賀状の送付を行う。 作成 320枚 送付 294枚 ・年賀状作成ボランティア 平成30年12月10日（月）13:00～15:00 参加者 10名 	

事業名	あんしんコール事業	
内容	・独居高齢者や高齢者夫婦世帯などに対し、安否確認や不安解消のために週2回(月・木)電話をかけて状況を確認する。	
(実績)		
1、利用登録者 2名 ※1名、町外在住の家族宅と自宅を行き来する生活をしており休止中 ※1名、訪問介護利用により安否確認が行えていること、本人認知症の進行により電話の記憶がなく電話での対応は混乱をまねく恐れもあることから、担当ケアマネと相談のうえ登録解除		
2、平成30年度実施		
	電話	訪問
4月	8回	なし
5月	9回	なし
6月	7回	1回
7月	6回	なし
8月	8回	なし
9月	3回	1回
10月	なし	なし
11月	なし	なし
12月	なし	なし
1月	なし	なし
2月	なし	なし
3月	なし	なし
計	41回	2回

事業名	介護器具の貸出事業	
内容	・在宅介護が必要な方に介護器具の情報提供と整備を図りながら、ベッド・車イス・エアーマットの貸し出しを行う。	
(実績)		
1、年間の利用状況		
(1) 介護用ベッド	・・・ 6台 (新規3件、返却1件)	総数 5台
(2) 車イス	・・・ 20台 (新規17件、返却15件)	総数 20台
(3) エアーマット	・・・ 1台 (新規1件、返却1件)	総数 1台
2、利用料金の請求		
(1) 継続利用者		
①10月請求 (4月～9月)	②4月請求 (10月～3月)	
(2) 短期利用者 返却時に集金		
(3) 利用料金		
①介護用ベッド	1ヶ月 1,000円	②車イス 1ヶ月 500円
③エアーマット	1ヶ月 500円	
3、エアーマット点検消毒 平成30年12月6日(木)依頼 依頼先 : 三好メディカル株式会社		

事業名	給食サービス事業
内容	週2回(火・金)ひとり暮らしの在宅者等に対して食事を提供することにより、安否の確認、孤独感の解消、食生活の改善等を図る。

(実績と評価)

1. 給食サービスの実績

【年間の利用者数】 延べ人数 436 人 月平均 36 人
 【年間の給食数】 3,049 食(おせちを含めると 3,071 食) 月平均 254 食

月	日	人数	延食数	業者
4月	8	44	288	セブンミール
5月	9	41	312	セブンミール
6月	9	38	287	セブンミール
7月	9	36	275	セブンミール
8月	9	37	260	セブンミール
9月	6	33	168	(火) 丹食品店、(金) 柳瀬商店
10月	9	33	258	(火) 丹食品、(金) 柳瀬商店
11月	9	36	268	(火) 丹食品、(金) 柳瀬商店
12月	8	33	227	柳瀬商店
1月	7	34	199	柳瀬商店
2月	8	36	237	柳瀬商店
3月	9	35	270	柳瀬商店

※年末のおせち 22 食

- ・平成 30 年 9 月のブラックアウトにより、弁当の注文を行っていたセブンミールが機能せず、2 日間休止となる。利用者へは訪問にて事情を説明し、大きなトラブルはなかった。セブンミールが休止となったため、お弁当を町内の食品店へ依頼した。内容としては好評だったが料金が値上がりしているため、今後利用者の負担増も含め、事業所の検討が必要である。
- ・安否確認の目的も含んでいるが、不在だったときの緊急時の体制を整備することが課題である。
- ・お手伝いいただくボランティアが固定されており、1 人が月に数回出ている状況であるため、新たな担い手を探していきたい。

2. 給食ボランティア交流会

給食ボランティア登録者の交流と情報共有。給食サービスにて提供しているお弁当の試食を行った。

平成 31 年 5 月 15 日 (火) 参加者 18 名

事業名	ふれあい郵便事業		
内容	・町内在住 80 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが作成した絵手紙を月 1 回自治会協力者、郵便配達員が手渡しで配布し、安否の確認と不安の解消を図るため実施。		
(実績)			
1、配布状況			
月	自治会配布枚数	郵便局配布枚数	合計
4 月	75	102	177
5 月	78	101	179
6 月	77	103	180
7 月	78	104	182
8 月	76	104	180
9 月	75	100	175
10 月	74	101	175
11 月	72	101	173
12 月	65	97	162
1 月	64	97	161
2 月	66	97	163
3 月	64	98	162
計	863	1,205	2,069
2、配布協力自治会 (11 自治会)			
・共和第 3 ～ 98 枚 ・旭町第 2 ～ 132 枚 ・高台町 ～ 45 枚 ・旭町第 3 ～ 124 枚 ・柏町 ～ 74 枚 ・緑町第 3 ～ 20 枚 ・豊永第 3 ～ 143 枚 ・旭町第 1 ～ 59 枚 ・緑町第 1 ～ 79 枚 ・共和第 4 ～ 65 枚 ・新町 ～ 24 枚			
3、絵手紙ボランティア			
・原案作成 (豊永 山内 浩子氏) ・色付け (絵手紙サークル 第 3 月曜日 13:00～) ・宛名書き (共和 中右 美枝子 氏)			

事業名	秋の日帰りふれあいバスツアー
内容	・70 歳以上のひとり暮らし高齢者に、名勝めぐり等を企画して、外出や交流の機会を持っていただく。
(実績と評価)の	
日 時：平成 31 年 9 月 12 日 (水) 9:30～14:40	
行 先：北見市	
内 容：北見市留辺蘂町の「北の大地の水族館」見学、福住温根湯店にて会食 イトーヨーカドー北見店にてショッピング	
参加者：15 名 (参加者 9 名、引率ボランティア 4 名、引率職員 2 名)	
評 価：	
<ul style="list-style-type: none"> ・今回は 9 名と定員に満たない参加者数となった。過去 2 年間の参加者と、道新かわら版で案内した他、給食等在宅福祉サービスの利用者に口頭でお知らせしたが、参加者から「70 歳以上の対象者全員に郵便で案内するか、広報つべつに早い時期に案内記事を掲載してはどうか」とのご意見が寄せられた。また、「9 月～10 月は、寿大学や老人クラブごとの行事など、他の団体の行事と重なることも多く、春の開催の方が良い」とのご意見も寄せられており、周知方法・開催時期・行先の更なる検討が必要と感じた。 ・行先については、「行ったことがある」と答えた方が多く、口頭にて次年度の希望の行先について参加者へ確認するも、特に希望は聴かれなかった。 ・年齢と共に身体機能が低下し、バスの乗り降りに多くの介助を要する参加者がいた。今後も増えてくることが予想されるため、どのように対応するか今後も検討が必要である。 	

事業名	男の料理教室			
内容	・年4回(9月・10月・2月・3月)男性の生活力向上、料理を楽しみ交流する場を設ける。概ね60歳以上の方を対象に開催した。			
(実績と評価)				
	日付	メニュー	参加者	奉仕団
第1回	9月26日(水)	ころころご飯・レタススープ・餃子・酢の物	7人	3人
第2回	10月3日(水)	いなり寿司・かっぱ巻き・いも煮汁・卵焼き・キムチ和え	8人	2人
第3回	2月27日(水)	ご飯・寄せ鍋・長芋ステーキ・カレー和え・キウイの果物	22人	6人
第4回	3月6日(水)	そばご飯・みそ汁・マヨ炒め・みぞれ和え・りんごの果物	24人	6人
<p>※講師は4回とも津別町役場の土井ゆかり管理栄養士。</p> <p>※調理支援ボランティアは赤十字奉仕団に依頼し、延17名の団員にご協力いただく。</p> <p>・29年度の参加者の意見を参考に、今年度は4回の開催とした。終了後のアンケートを確認すると、「1月～3月」の間と4回以上の開催を希望する声が多かった。</p> <p>・第3・4回の参加人数が20名を超えたが、調理実習室のスペースを考えると、定員を20名とし、最大25名が限界であると感じた。人数が多すぎることによる不満は特に聞かれなかった。</p> <p>・第3・4回目目の参加人数が増えた要因としては、周知方法として前年度参加いただいた方への郵送による呼びかけや直接の声掛けを行ったことだと思う。</p> <p>・第3回目において、昼食後自己紹介をすることになった。顔を知らない方も中にはいたため、次年度も入れた方が良いと感じた。</p>				

事業名	長寿者夫婦の集い			
内容	・夫婦の年齢合計が140歳以上の世帯の方を対象に、冬場の閉じこもり防止及び安否確認を目的として開催する。			
(実績)				
1、集いの開催				
日時	平成31年2月6日(水) 11:00～13:00 町民会館			
参加者	16組 32名の夫婦世帯			
	ボランティア 16名 役職員 6名 出演者 7名			
内容	①体操「簡単にできる脳トレ体操」 担当 津別社協 寺尾主事			
	②鍋を囲んでの会食			
	③余興「オカリナ演奏」 オカリナPOPO☆ロン			
	④ビンゴ大会			
2、周知活動				
・過去、集いに参加されている方へ案内文の送付				
・単位老人クラブへ案内文の送付とポスター掲示依頼				

事業名	地域老人懇談会助成事業																																																																											
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動を推進するため、自治会単位で開催する高齢者の交流、福祉・健康教室、地域防犯教室等に関する研修事業を開催するときに助成を行う。 ・対象者は70歳以上の方 ・20名までは、一人1,000円、21名から一人500円の助成 																																																																											
(実績と評価)																																																																												
<p>■助成自治会 (15自治会)</p> <table border="1"> <tr><td>豊永第4自治会</td><td>7月2日</td><td>参加者24名</td><td>助成金額</td><td>22,000円</td></tr> <tr><td>東達美自治会</td><td>8月6日</td><td>参加者8名</td><td>助成金額</td><td>8,000円</td></tr> <tr><td>活汲中央自治会</td><td>9月1日</td><td>参加者23名</td><td>助成金額</td><td>21,500円</td></tr> <tr><td>旭町第2自治会</td><td>9月16日</td><td>参加者12名</td><td>助成金額</td><td>12,000円</td></tr> <tr><td>達美町自治会</td><td>9月18日</td><td>参加者25名</td><td>助成金額</td><td>22,500円</td></tr> <tr><td>東町自治会</td><td>9月20日</td><td>参加者36名</td><td>助成金額</td><td>28,000円</td></tr> <tr><td>共和第4自治会</td><td>9月24日</td><td>参加者28名</td><td>助成金額</td><td>24,000円</td></tr> <tr><td>共和第2自治会</td><td>9月27日</td><td>参加者17名</td><td>助成金額</td><td>17,000円</td></tr> <tr><td>共和第3自治会</td><td>9月30日</td><td>参加者18名</td><td>助成金額</td><td>18,000円</td></tr> <tr><td>幸町自治会</td><td>10月13日</td><td>参加者20名</td><td>助成金額</td><td>20,000円</td></tr> <tr><td>豊永第3自治会</td><td>10月14日</td><td>参加者32名</td><td>助成金額</td><td>26,000円</td></tr> <tr><td>緑町第1自治会</td><td>10月27日</td><td>参加者24名</td><td>助成金額</td><td>22,000円</td></tr> <tr><td>新町自治会</td><td>10月27日</td><td>参加者13名</td><td>助成金額</td><td>13,000円</td></tr> <tr><td>本町自治会</td><td>11月4日</td><td>参加者14名</td><td>助成金額</td><td>14,000円</td></tr> <tr><td>柏町自治会</td><td>11月11日</td><td>参加者26名</td><td>助成金額</td><td>23,000円</td></tr> </table> <p>■助成金額合計 291,000円</p> <p>■消防、警察、保健師、社協等を講師に呼んで、高齢者に対し講話を行う。</p>		豊永第4自治会	7月2日	参加者24名	助成金額	22,000円	東達美自治会	8月6日	参加者8名	助成金額	8,000円	活汲中央自治会	9月1日	参加者23名	助成金額	21,500円	旭町第2自治会	9月16日	参加者12名	助成金額	12,000円	達美町自治会	9月18日	参加者25名	助成金額	22,500円	東町自治会	9月20日	参加者36名	助成金額	28,000円	共和第4自治会	9月24日	参加者28名	助成金額	24,000円	共和第2自治会	9月27日	参加者17名	助成金額	17,000円	共和第3自治会	9月30日	参加者18名	助成金額	18,000円	幸町自治会	10月13日	参加者20名	助成金額	20,000円	豊永第3自治会	10月14日	参加者32名	助成金額	26,000円	緑町第1自治会	10月27日	参加者24名	助成金額	22,000円	新町自治会	10月27日	参加者13名	助成金額	13,000円	本町自治会	11月4日	参加者14名	助成金額	14,000円	柏町自治会	11月11日	参加者26名	助成金額	23,000円
豊永第4自治会	7月2日	参加者24名	助成金額	22,000円																																																																								
東達美自治会	8月6日	参加者8名	助成金額	8,000円																																																																								
活汲中央自治会	9月1日	参加者23名	助成金額	21,500円																																																																								
旭町第2自治会	9月16日	参加者12名	助成金額	12,000円																																																																								
達美町自治会	9月18日	参加者25名	助成金額	22,500円																																																																								
東町自治会	9月20日	参加者36名	助成金額	28,000円																																																																								
共和第4自治会	9月24日	参加者28名	助成金額	24,000円																																																																								
共和第2自治会	9月27日	参加者17名	助成金額	17,000円																																																																								
共和第3自治会	9月30日	参加者18名	助成金額	18,000円																																																																								
幸町自治会	10月13日	参加者20名	助成金額	20,000円																																																																								
豊永第3自治会	10月14日	参加者32名	助成金額	26,000円																																																																								
緑町第1自治会	10月27日	参加者24名	助成金額	22,000円																																																																								
新町自治会	10月27日	参加者13名	助成金額	13,000円																																																																								
本町自治会	11月4日	参加者14名	助成金額	14,000円																																																																								
柏町自治会	11月11日	参加者26名	助成金額	23,000円																																																																								

事業名	広報啓発事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回(4月・7月・10月・1月)の社協だよりの発行 ・ホームページ、フェイスブックにより情報を提供
(実績と評価)	
<p>■社協だより 4回発行(4月・7月・10月・1月・) 1回8ページ ※4月、1月号は10ページで発行</p> <p>■ホームページ、フェイスブックの開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より開設 ・ホームページについては、プロテック株式会社に依頼 	

事業名	サークルぴゅあ例会
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害の疾患を持った当事者の会について、ボランティアによる企画・運営が行われており、その活動支援を行った。 ・開催案内の通知及び参加報告の窓口となる。 ・行専用保険の加入を行う。 ・開催経費の支援を行う。
<p>(実績)</p> <p>1、例会の開催</p> <p>(1) 平成 30 年 5 月 30 日 (水) 10:00~12:00 町民会館 大会議室 参加者 3 名 ボランティア 3 名 役場 (相談支援員) 1 名 (保健師) 2 名 社協 2 名 計 11 名 内容: 近況報告、カラオケ、軽食交流 (おにぎり)</p> <p>(2) 平成 30 年 11 月 26 日 (月) 10:00~12:30 社会福祉協議会 居場所 参加者 3 名 ボランティア 3 名 役場 (保健師) 2 名 社協 1 名 計 9 名 内容: クリスマス会 (室内ペタンク、会食交流)</p> <p>(3) 平成 31 年 2 月 25 日 (月) 10:00~12:00 社会福祉協議会 居場所 参加者 5 名 ボランティア 3 名 役場 (相談支援員) 1 名 社協 1 名 計 10 名 内容: 近況報告、スカットボール、軽食交流 (おにぎり、桜もち)</p> <p>2、反省会の開催</p> <p>(1) 平成 30 年 5 月 30 日 (火) 12:20~13:00 津別町役場 ボランティア 3 名 役場 (相談支援員) 1 名 (保健師) 1 名 社協 1 名 計 6 名</p> <p>(2) 平成 30 年 11 月 26 日 (月) 13:00~14:00 津別町役場 ボランティア 3 名 役場 (保健師) 1 名 計 4 名</p> <p>(3) 平成 31 年 2 月 25 日 (月) 13:00~14:00 津別町役場 ボランティア 3 名 役場 (相談支援員) 1 名 計 4 名</p> <p>3、サークルぴゅあ通信の発行</p> <p>(1) 発行日</p> <ul style="list-style-type: none"> ①NO.5 平成 30 年 5 月 17 日 (木) ②NO.6 平成 30 年 8 月 28 日 (火) ③NO.7 平成 30 年 11 月 6 日 (火) ④NO.8 平成 31 年 2 月 1 日 (金) <p>(2) 発送先</p> <ul style="list-style-type: none"> ①参加対象者 6 名 ②ボランティア 3 名 ③役場担当課 保健福祉課 (地域包括支援センター、健康推進係) 	

事業名	ボランティアセンター事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉ニーズに即したボランティアの発掘・育成・需給調整を行います。 ・ボランティア活動団体・関係機関等との連携、協力を行いボランティアセンターの機能充実を図ります。 ・ボランティア活動の相談や登録・斡旋・情報提供等が円滑にできる体制づくりを進めます。 ・町外へのボランティア研修会等へのボランティアの派遣。

1、実績

(1) ボランティアセンター運営委員会

- 第1回 平成30年4月24日(火) 委員 6人、事務局 3人
 第2回 平成30年10月25日(木) 委員 7人、事務局 3人

(2) 講座等の開催

- ・介護予防いきいきポイント事業登録者フォローアップ研修・登録前事前研修

- 第1回 平成30年6月20日(水) 参加者 40名 (内新規登録9名)
 講演「ボランティア活動で広がる地域の支え合い」
 講師 網走市社協 松野修大氏 市民活動サポーター 松田安子氏
 実践報告 渡部小夜子氏 高橋以明氏

- 第2回 平成31年3月11日(水) 参加者 22名 (内新規登録7名)
 講演「ボランティア活動で広がる地域の支え合い」
 講師 NPO 法人北海道総合福祉研究センター 事務局長 池田ひろみ氏

- ・ママさん向けカラーセミナー

- 平成31年3月2日(土) 中央公民館 参加者 10名
 講師 カラーコーディネーター 外崎由香氏

(3) オホーツク管内の研修等への参加

- ・ボランティア活動推進会議(網走市)
 第1回 平成30年6月14日(木) 山内副委員長、佐藤主事
 第2回 平成31年1月31日(木) 土屋委員長、及川主事
- ・オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム
 平成30年11月10日(土) 北見市 参加者 250名 (内津別町 21名)
- ・3町ボランティア朋の集い
 平成30年11月29日(木) 大空町 総数 111人出席 (内津別町 21名)

(4) 社協事業へのボランティア参加状況

事業名	開催日	V人数	備考
第1回一人暮らしお年寄りの集い	平成30年7月11日(水)	20	
第27回つべつふれあい広場	平成30年7月29日(日)		スタッフ
秋の日帰りふれあいバスツアー引率	平成30年9月12日(水)	4	
年賀状づくり	平成30年12月10日(月)	10	
第2回一人暮らしお年寄りの集い	平成31年1月16日(水)	23	
長寿者夫婦の集い	平成31年2月6日(水)	16	
男の料理教室(第1回目)	平成30年9月26日(水)	3	
男の料理教室(第2回目)	平成30年10月3日(水)	2	
男の料理教室(第3回目)	平成31年2月27日(水)	9	
男の料理教室(第4回目)	平成31年3月6日(水)	9	
計 10件			

(5) いきいきポイント事業活動実績

・指定施設 町内8事業所

・登録者の状況

65歳以上	男性	23名	女性	57名	計	80名
64歳～40歳	男性	11名	女性	39名	計	50名
40歳未満	男性	2名	女性	5名	計	7名
合計	男性	36名	女性	101名	計	137名

※新規登録者14名（男性6名、女性8名）

・活動内容と人数

地域サロン	49名	給食サービス	19名	社協事業	48名	サークルぴゅあ	3名
絵手紙	3名	託児	2名	特養いちいの園	8名	デイサービスセンター	7名
グループホーム	5名	ケアハウス	9名	小規模多機能ホーム	3名		
						合計	156名

・換券状況

町財源	男性	13名	41,000円	女性	43名	104,000円	計	56名	145,000円
社協財源	男性	1名	5,000円	女性	4名	7,000円	計	5名	12,000円

(6) ボランティア活動別実績

・絵手紙ボランティア・・・6名の個人ボランティアによる活動。

第3月曜日に活動。毎回、150枚～180枚作成。

・給食ボランティア・・・20名のボランティアによる活動

34名の給食利用者に弁当を配達し、安否確認や声掛けを行う。
毎週火曜日・金曜日の午後2時50分～4時

介護サービス事業の推進

事業名	介護サービス事業																																				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度のサービス事業者、障害福祉サービス事業者として、高齢者等の一人一人が、住み慣れた地域や家庭でいつでも安心した生活を送れるよう、良質な介護サービス提供に努め、利用者が介護サービスを適切に選択・利用できる環境づくりに関係機関と連携しながら推進するとともに、職員研修を充実させ、支援体制の整備を図ります。(訪問介護事業・介護予防訪問介護事業・訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業・障害福祉サービス事業) ・町が実施する制度外の受託事業について、高齢者が健康で生きがいを持って生活できるよう、関係機関と連携を図りその推進に努めます。(安否確認訪問事業・生活援助員派遣事業・地域生活支援(訪問入浴)事業) 																																				
<p>(実績と評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護事業、訪問入浴介護事業及び障害福祉サービス事業を実施し、介護利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、予防給付者の自立支援に向けたサービスの提供に努めました。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業 利用者数 延 714 人 回数 5,144 回 時間 5,888 時間 2. 訪問入浴・介護予防訪問入浴 利用者数 延 20 人 回数 75 回 3. 障害福祉サービス事業 利用者数 延 18 人 回数 68 回 <ul style="list-style-type: none"> ・町から委託を受けた、安否確認訪問事業、生活援助員派遣事業を実施し、介護保険サービスを受けることができない方に対して、声掛けなどをおこない不安解消に努めた。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 安否確認訪問(介護予防把握事業) 137 件 2. 安否確認訪問(認知高齢者見守り事業) 66 件 <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング 毎月 1 回 ・内部研修 毎月 1 回 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">4 月</td> <td style="width: 75%;">内部研修の内容検討</td> <td style="width: 20%;">ヘルパー</td> </tr> <tr> <td>5 月</td> <td>車イスの操作・実践</td> <td>溝渕主任</td> </tr> <tr> <td>6 月</td> <td>着替えの介助・おむつ交換・清拭</td> <td>溝渕主任</td> </tr> <tr> <td>7 月</td> <td>摂食・嚥下障害の基礎知識</td> <td>丸尾保健師</td> </tr> <tr> <td>8 月</td> <td>施設の種類と仕組み</td> <td>丸尾保健師</td> </tr> <tr> <td>9 月</td> <td>救命処置講習(心肺蘇生法)</td> <td>消防士</td> </tr> <tr> <td>10 月</td> <td>救命処置講習(心肺蘇生術 AED 使用法・地震時の備え)</td> <td>消防士</td> </tr> <tr> <td>11 月</td> <td>腰痛予防ストレッチ・かるっちゃ体操</td> <td>藤岡氏</td> </tr> <tr> <td>12 月</td> <td>ヒートショックと血圧</td> <td>鈴木保健師</td> </tr> <tr> <td>1 月</td> <td colspan="2">悪天候のため中止</td> </tr> <tr> <td>2 月</td> <td>目の病気について</td> <td>向平保健師</td> </tr> <tr> <td>3 月</td> <td>反省会・次年度に向けて</td> <td>ヘルパー</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者研修セミナー 平成 30 年 6 月 16 日(土)～ 17 日(日) 札幌市 青山ヘルパー出席 ・本音で語る医療と介護のタウンミーティング 平成 30 年 9 月 13 日(木) 美幌町 出席者 ～ 溝渕ヘルパー、村松ヘルパー 平成 31 年 3 月 7 日(木) 美幌町 出席者 ～ 溝渕ヘルパー ・障害・介護事業所集団指導 平成 30 年 10 月 3 日(水) 網走エコーセンター 門脇管理者出席 ・北海道ホームヘルプサービス協議会 網走地区資質向上研修・網走地区連絡会議 平成 31 年 3 月 2 日(土) 網走エコーセンター 出席者 ～ 溝渕主任、村松ヘルパー、青山ヘルパー 		4 月	内部研修の内容検討	ヘルパー	5 月	車イスの操作・実践	溝渕主任	6 月	着替えの介助・おむつ交換・清拭	溝渕主任	7 月	摂食・嚥下障害の基礎知識	丸尾保健師	8 月	施設の種類と仕組み	丸尾保健師	9 月	救命処置講習(心肺蘇生法)	消防士	10 月	救命処置講習(心肺蘇生術 AED 使用法・地震時の備え)	消防士	11 月	腰痛予防ストレッチ・かるっちゃ体操	藤岡氏	12 月	ヒートショックと血圧	鈴木保健師	1 月	悪天候のため中止		2 月	目の病気について	向平保健師	3 月	反省会・次年度に向けて	ヘルパー
4 月	内部研修の内容検討	ヘルパー																																			
5 月	車イスの操作・実践	溝渕主任																																			
6 月	着替えの介助・おむつ交換・清拭	溝渕主任																																			
7 月	摂食・嚥下障害の基礎知識	丸尾保健師																																			
8 月	施設の種類と仕組み	丸尾保健師																																			
9 月	救命処置講習(心肺蘇生法)	消防士																																			
10 月	救命処置講習(心肺蘇生術 AED 使用法・地震時の備え)	消防士																																			
11 月	腰痛予防ストレッチ・かるっちゃ体操	藤岡氏																																			
12 月	ヒートショックと血圧	鈴木保健師																																			
1 月	悪天候のため中止																																				
2 月	目の病気について	向平保健師																																			
3 月	反省会・次年度に向けて	ヘルパー																																			

～ 介 護 保 險 事 業 ～

◆訪問介護・介護予防訪問介護・訪問入浴介護実績（人数、回数、時間）

【訪問介護・介護予防訪問介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業 対象者	人数	12	11	11	10	10	11	11	9	9	9	8	9	120
	回数	46	57	57	56	58	57	59	49	41	37	37	41	595
	時間	460	57	57	56	62.5	60.5	63.5	53.5	45	37	37	41	1030
要支援 1	人数	9	8	6	6	6	5	5	6	5	4	6	6	72
	回数	52	50	30	35	32	25	28	33	24	19	36	36	400
	時間	52	50	30	35	32	25	28	33	24	19	36	36	400
要支援 2	人数	6	6	7	8	7	9	8	8	7	7	9	9	91
	回数	45	47	55	59	55	61	63	58	51	47	63	64	668
	時間	45	47	55	59	55	61	63	58	51	47	63	64	668
介護1	人数	19	22	24	23	26	26	28	24	25	25	24	19	285
	回数	219	211	209	205	223	184	27	246	189	171	169	155	2208
	時間	216	200	199.5	194.5	216.5	177	251	221.5	194.5	184	183.5	171	2409
介護2	人数	11	8	7	7	6	6	7	9	9	9	7	7	93
	回数	84	64	64	62	45	47	66	75	70	56	54	60	747
	時間	91	73.5	67.5	70.5	57	57.5	79.5	89.5	83	65.5	61	67	862.5
介護3	人数	2	3	5	5	4	5	3	4	3	2	2	4	42
	回数	23	25	43	58	48	51	39	39	18	15	17	38	414
	時間	23.5	24	45	64	51	46	40	40	18	20	22.5	45.5	439.5
介護4	人数						1	1	1	1	2	2	3	11
	回数						2	39	44	1	6	8	12	112
	時間						1	24	27	1	6	8	12	79
介護5	人数													0
	回数													0
	時間													0
合計	人数	59	58	60	59	59	63	63	61	59	58	58	57	714
	回数	469	454	458	475	461	427	321	544	394	351	384	406	5144
	時間	887.5	451.5	454	479	474	428	549	522.5	416.5	378.5	411	436.5	5888

【訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護4	人数						1		1	2	2	1	1	8
	回数						1		5	5	5	4	4	24
介護5	人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	回数	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	51
合計	人数	1	1	1	1	1	2	1	2	3	3	2	2	20
	回数	5	4	4	5	4	5	5	9	9	9	8	8	75

■年度別介護保険事業実績状況

年度	介 護	入 浴	合 計	年度	介 護	入 浴	合 計
12年	7,639,450	2,157,810	9,797,260	22年	13,789,360	129,380	13,918,740
13年	6,410,560	1,911,970	8,322,530	23年	14,887,000	431,250	15,318,250
14年	8,889,170	1,813,070	10,702,240	24年	18,448,662	1,007,728	19,456,390
15年	13,270,840	1,581,310	14,852,150	25年	16,272,166	1,468,233	17,740,399
16年	14,252,410	2,902,410	17,154,820	26年	15,003,051	1,693,493	16,696,544
17年	12,279,270	1,991,050	14,270,320	27年	18,919,450	569,378	19,488,828
18年	11,660,920	1,451,200	13,112,120	28年	22,851,805	1,282,300	24,134,105
19年	11,364,240	1,135,700	12,499,940	29年	23,469,960	725,890	24,195,850
20年	14,330,830	776,300	15,107,130	30年	20,065,424	1,101,470	21,166,894
21年	12,780,180	345,010	13,125,190				

津別町老人クラブ連合会事務局の運営

事業名	津別町老人クラブ連合会事務局の運営
内容	・津別町老人クラブ連合会事務局が社協に移管して3年目。今年度は、会員間の交流事業に重点を置いて運営を行った。
<p>(実績と評価)</p> <p>1. 定期総会 5月29日(火) 津別町町民会館 12クラブ27人、事務局3人・来賓1人 出席</p> <p>2. 組織の状況 13クラブ 会員 398人(平成30年5月1日現在)</p> <p>3. 三役会議 6月4日(金) 社会福祉協議会 4人出席 11月1日(木) 社会福祉協議会 4人出席 平成31年4月19日(金) 社会福祉協議会 4人出席</p> <p>4. 役員会議 6月14日(木) 社会福祉協議会 10クラブ12人出席、事務局2人 令和元年5月14日(火) 社会福祉協議会</p> <p>5. 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網走地区老人クラブ連合会網走ブロック研修 7月24日(火) 清里町 津別町から 9クラブ26人、事務局1人 ・町内交通体系研究調査に係るアドバイザーと懇談 7月25日(水) アドバイザー 為国氏、8クラブ8人、事務局2人、町2人 ・津別町老人クラブ連合会会長杯ゲートボール大会 9月18日(火) 町民ゲートボール場 7クラブ24人、役員・事務局6人 ・津別町老人クラブ連合会会長杯パークゴルフ大会 9月26日(水) ふれあい公園パークゴルフ場 7クラブ20人、役員・事務局4人 ・網走地区老人クラブリーダー研修会 10月11日(木)～12日(金) 北見市温根湯 津別町から 7クラブ10人、事務局1人 ・全道老人クラブ大会 9月28日(金) 北見市市民会館 3クラブ3人、事務局1人 ・3市町老人クラブ女性リーダー研修会 10月30日(木) 網走市 津別町から1クラブ3人、事務局1人 ・津別町老人クラブ連合会演芸交流会 11月6日(火) 津別町中央公民館 25組26人出演、参加者155人 ・津別町老人クラブ連合会先進地視察研修 12月19日(水) 視察先 網走市老人クラブ連合会 津別町から 9クラブ20人、事務局2人、 終了後、反省会「いっぱち」 8クラブ18人、事務局4人 ・網走地区老人クラブ連合会理事会 2月19日(火) 網走市 会長・事務局1人出席 ・津別町老人クラブ連合会女性研修会 3月27日(水) 津別町中央公民館 8クラブ33人、事務局2人 講演「終活について」 講師：終活上級カウンセラー 布瀬勝明 氏 <p>6. 表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ①網走地区老人クラブ連合会会長表彰 2人(小澤 實氏(本岐)・田島利男氏(西区寿)) 10月11日 網走地区老人クラブリーダー研修会の席上で表彰 ②津別町老人クラブ連合会会長表彰 3人(植松栄子氏(豊永)・斉藤ツキ氏(活汲) 松田イナ子氏(本岐) 11月6日連合会演芸交流会の席上で表彰 	

平成30年度 定款・規程・要綱の整備状況

【定款】

区 分	届出年月日	内 容	備 考
一部改正	H30.10.9届出	事務所移転に伴い事務所所在地変更に伴う一部改正	

【規程】

区 分	公布年月日	内 容	備 考
一部改正	H30.12.19公布	職員給与規程の一部改正	

【要綱】

区 分	公布年月日	内 容	備 考
一部改正	H30.12.19公布	給食サービス事業実施要綱の一部改正	

